在任四年の間君解とアンゴ

髪を開拓

件で味噌をつけ可能性を失ったか

れた今日まさかけーケ領な尖端を無る帝殿は出来まればまるで赤が排に聴した領人大便な

外相は朝六日の殿臓に報告正式に決定する無様である、特原体就任の内を動を受けたが大便は之を受認した機構である、特原外相と訪問し支那公

植民地特別會計

米週大蔵省議で査定

その昔尖端外交ぶりで

驍名を馳せた小幡さん

使の立監だ、今や南京政府の危機 といふのは小幅大 やられば嘘だ、といふのは小幅大 やられば嘘だ、といふのは小幅大 かして かして

支那公使就任を

小幡大使に交渉

あす閣議で正式交渉

對支外交の檜舞臺に乘出すか

製電」宗西元氏は河南

米官邊態度

に東京物・五日数 各組民地の明年度特別會計改算は其後大脳省の が度特別會計改算は其後大脳省の が度特別會計改算は其後大脳省の

和問題の話が終金の妙緒になつたとは新麗見だ」を呼べ大と親く話しでゐる内にすつかり織つた」と語り博士は「平之規金雕は「今日は荒天のため少し頭ൃ塚味だつたが博士

お配し一名位る全間を追加代命す ・ 大に比し全間の数が不足して支障。 を生ずる域あるので各圏の振合を ではあるので各圏の振合を

個より派遣することは困難なのでる館であるが、食物が追の折極本

局は俄然重

將氏直系軍は各方

聯盟積極的に

進行

大日の山氏は霊林の資気

らであると信ぜらる

度に狼狽

三個の監督につき本日のロシア新三個の監督につき本日のロシア新三個の監督につき本日のロシア新三個の監督に正常露直接交渉を不同に終めらしめん為の低等的企で

と論じてゐる

知くなること判明し、画民政府職 計楽観光教園軍先鋒衛指揮 第二軍司令 体 調 元 第二軍司令 体 調 元

源調友復編

無機偏其他につき協議を進めてる 公果天化するものと見られてある

軍縮全權増員か

英米に比し不足せるため 適任は出淵駐米大使

「関系四日發電」石友三氏に使り「東京四日發電」石友三氏に使り「東京四日發電」石友三氏に使り第五国司令 孫の 公金 一二

石軍大學攻撃せば

溜りも無く落城

危機に直面せる南京

世界平和の話が

船暈の妙藥

若槻全権が三博士と會談

将緊知事制を改革すること

八八に事務所を置き癖の以「中大沖市長」今

荒井妄男、魔野清之助、中條繁 常出市太郎、原胡一郎、仲本守 学出市太郎、原胡一郎、仲本守 ばいかる丸船客「同門 飲まずに治る リサ浸透療法 遼東醫 電話二十二二一一番地大連市西公園町一三一番地

話ニリニニー

今村春逸



四年江

支援にて成は現職に留まるやも知熟が和氏の が、現状取り 哈市領事團の計畫

廣く意見を徴し

で同地で 温家に従事してるたが

本学の 東京五日設定】 情望外相は三日 東京五日設定】 情望外相は三日 **五時壁瀬出帆のプレシデントマツぎー祭賞を催した夫婆は同日 後**

拓務の機能發揮

本月中旬第二回懇談會開催

頭絡輸業の上にも實施することで、貨物の代金引着制度を打断満

張長官は習任か せんん

しとも脱減されてるの、若し明識に 大変に用せばニューヨーク 無酸率 にを起用せばニューヨーク 無酸率 はと

【ハルビン特徴五日報】論当交渉

調査機關を設置せん を改正し ン浄化を期待

取締修正

だが先づ会民権から結めた方が是 安塗内相が質面目に超悪戦時間が としても之に継ずるだけの用意が を聞くに大楽聴戦の加きは此見場 としても之に継ずるだけの用意が を聞くに大楽聴戦の制きは此見場 としてあるとしてある 舊革新派の主張

漏鐵の明年度豫算 制見當切下げか

物價低落ご勞銀安を見込んで 製鋼所案は審議着手

内鮮滿周遊券を

層便利に改正

臺灣とも連絡を開始

を見で終了したが主な

を代表して用席中だった機関部都六回日野諸孫就維護指令の三日間開稿でれた様子、十六の三日間開稿でれた様子、十二の三日間開稿であれた様子、

物年文藝と寫眞

ل



天下の形勢は、年末と共にいい 代理店 大 高橋、 川平、 小林、 會社 東 玉 一 大阪市此花區吉野町一丁目 大阪市此花區吉野町一丁目

るかが問題になる。

観れんとする。中原また大

大觀小觀

いや単語の交渉れ、相當の影響を遊氏の運命和判によつて、需支

世界的に誇り得る

夢集を開始すると

・分、華天曜北部線ホームで重 たる壁管一名を華天棚域ホームで重 で、東天曜北部線ホームで重 国員の

「金天特電五日報』五日朝九時代 れぐ 党派を授助するところがる 二十一列車にまたも撃動あやしき 二十一列車にまたも撃動あやしき 二十一列車にまたも撃動あやしき 二一名無錢飲食 一二名無錢飲食 撫順落ちか

二国北平、上部販光廠を組織し近は歳末年齢の休みを利用しての無 ・ピュー

歳末年始の休みを利用 北平上海の観光

和国大連國流(共復八以間) ・ 一年、大の三日間北平滯在、七日 ・ 一年、大の三日間北平滯在、七日 ・ 一年、大日天初次にて出机 ・ 一年、大田大神國流(共復八以間)

一十名、 集者三十名、 総別は変十者で名をとう、 野神の解析能示して、 野神の解析能示して、 明神の解析能示

警察官吏や 雇員の昇給

同船より五日午前十時ころ無電をは衛役の都合で海特中であつたが、は衛役の都合で海特中であつたが、

北支郷班七十五川で郷郷とれてあるだけ前の鉄野を飯に南支郷町四十五側での大連汽船の後端があるため鉄野を飯に南支郷町四十五側で マンのため北支那班はビジネス

船艙に墜ち即死

御難續きの問題の獨船

監検中添って三丈近くもみる情

頭部を粉件即死してゐる

て内

御及 契沿

約線を最

定質旗百

(四ー三)

ある船船

イツ機關士

中小學校等で同三十萬側に難して

であるが、講義場頭及び大汽、商定期齢パースの歴史は武報の如く との間に離べ了解なり来る小二一 バース愛す 來る廿二日から

各定期船の

午前八時四十五分市四千代田町二 千代田町のボヤ 遂に訴へらる

は轉げ込む

郷を様伏せ同所入口や検率局職で 大立戦りをなしたので、際場首 権被訴は批量所帰勤に見做し各場 場合したので、際場首 を手が成したので、際場首

各種壹千臺限り

ルソフオニック

ピクトロラ(一九〇)

(定價百五拾圓)

界各國酒類 近日開店

食

路不可能で北端貨物はどんへ、 等をは特に東支、鳥蘇里線の連 現状は火の出るやうな忙しさで南下する、長春連絡輝及び埠頭 を見ると を行ふか めるその鍵左に最近の機道收入 五1110,111

を射殺す

理をなすが、都合に使つてはるに至らぬものとし第二回書 不正はない **啖取調べをなすやも知れぬ** 小橋前文相談

怪支

頻發の强盗殺人事件の嚴戒中

けさ奉天驛の騒ぎ

製は港回傳へられるような不正 の事實を否認しつゝ左の如く語る の事實を否認しつゝ左の如く語る の事實を否認しつゝ左の如く語る に見て腕る不破点であると前機で と既聴を要するもので今日まで機 を関が聴動中であつたが時间的 使用方法が残り一人前に同様をはすべて緊領機関で一個人々その り日人間の上海に別船大鴻丸より七日入間の上海に開発開船大鴻丸よ

十一頭八十九鏡(四百大口)の巨 **依然大百五十间、合計二千八百九** 現金二千二百四十一圓八十九鏡、 戯の自殺的献金を収配めてゐたがかれて補籍が得口工場では各機能

持撃し右戦金の収扱方を委嘱した戦に達したので五日・連市役所に 十餘圓を取纏めて トテも直らぬ 集金横領

人が同列車に乗車せるを緊撃或中の織田巡査が認め能何すると直車が發車直崩、楽天縣無限線ホームから一名の撃動怪しき一支那天鴉でも歐重撃或してゐたところ、五日朝九時廿分ごろ無順行列、東天神皇五日殺」孫近翔競する率天帝埠地の端監殺人事件に率

會館止得業選業古書賞でもの帰名 は四日午後九特三十分ごろ市内信 機町一三九千鳥カフェーに扱いて 機町一三九千鳥カフェーに扱いて

中多田巡査が腹機に触せつけ野支那人を射殺し他の領客は無事に巻鉄を取り出したので、総田巡査は素早く組つき車内にて格

鏡飲食者として常盤概飯出所に突れも懶中無一文なる上と判明、無 側所持してゐるのみで開名はいづ 四六十銭の飲食し、竹内が使か一

長春行列車にも

怪しい支那ー

答辞書

關東廳がバラ撒く金は百萬圓

秘書課算出に大童

格闘のうへ引ッ捕ふ

鉄に及び四日店主職田勝郷より新 を機領費消せる郷五百六十九間 一

大海内温度 五日入港の 一大海内温度 五日入港の 一大海内温度 五日入港の 一大山東朝入港に関東を見た。 「日春町入港に関東を見た。 「日春では南間大學のバスケット

藤原義江 態よ 協和 會 言館に於て

四萬三千條四と云ふのが母近、

と云つた有様で

日の一日の鎌道戦入五十

大浦埠頭の昨今3 大浦埠頭の昨今3 大浦埠頭の昨今3 大連埠頭には吹かないと言ふ有様である。【高興は 大連埠頭には吹かな

トドである、十二月に入つて少し落ちたのは除雪のほめであって、まだく、今月一ばい、一月二月、三月までは出種も時であってが、が朧この吹入の中には接客放入が一顆位の位置を占めなるのだが、しかし大部分はてみるのだが、しかし大部分は

-不景氣風ドコを吹く

くはポートサイド、ハンブルグ れ等は日本向け、上部向け、 満

定河船を繋ぐ事は乗降附客は勿一方面に通途するところあつか。 窓くなるのにあちらのパースに 荷役作業との他にず降なき機馴係 路線戦艦では右バース機械と共に

勳三等の祈禱師

大連署で油を絞られ

結局、拘留五日の處分

毛皮鞣、染、色

風順の輸出が見られてゐる

への機出である。毎日二、三

の在貨が「船」を持つてゐる。

年の昨今は三十萬職足らずの

新雄に際留さる、事となり。 上海 定期前メースは現在の内順定期船 ボース即ち十番バースに際留さる

243

話

の府に在るものとし忍び得ざると私の不徳の致丁ところで文教明ー非難の矢を向けてゐること ところである。まさに非難者とところである。まさに非難者と

た思ふ、またこの量りでないがやがて熟練のそしりはまぬかまだ不熟練のそしりはまぬか

しある、たと使用者

を治療すると市内但馬町吉田興數

檢事局廊下で

自慢のクレーン 態は使用する 第二埠頭六號倉庫と共に 七日の大連丸から

りしても電気仕掛の今度の方が 如何にも電気の方が違い様に思 如何にも電気の方が違い様に思

市内沙河口西町一二五朝蘇料理店 地角方抱え野崎真子こと鄭雲青(2)に五日午前九時ごろ阿片を多量に職下し苦臓中を家人が發見、直に懸下し苦臓中を家人が發見、直に動きない。原因不明月下眼離中 が未だ不熟練のそしりはまねかが未だ不熟練のそしりはまねて りと思ふ、またこの種のタレー いは大抵の大無脚に設置されて るるものであるから、船の方か らとやかくいはれる様な事はな

場員献金

判が開かれるよ又復じなでも観察 判が開かれるよ又復じなでも観察 し、定務前から総合職は裁判所前 し、定務前から総合職は裁判所前

古本萬引少年
古本萬引少年
本際宮姆縣学米郡登米町大学日柳
本際宮姆縣学米郡登米町大学日柳
本際宮姆縣登米郡登米町大学日柳

日本各地名産

お客の友

東京風菓子謹製

大大和総称神武工場に於て確設に 無調はれたが率の附け様なく大事を 無道はれたが率の所け様なく大事を が、ラス概を伏せ

鮮人團大立廻り 横濱地万裁判所で公判前に 日本最初の暴行事件



盤豊田洋行戦 「開発を表こう」 対象を施すには 大場では経費の治療に本 ◇外科、皮膚病、痔、性 ◇外科、皮膚病、痔、性 ◇外科、皮膚病、痔、性 ◇治療器の販賣又はは ・治療器の販賣又はは ・治療器の販賣又はは ・治療器の販賣又はは ・治療器の販賣又はは ・

悠麗

披

生一本の香り こまをごする 美味と經濟の食道樂

候間御愛顧の程伏而願上候當る十二月七日より開店仕

古野町人七番地 二二二〇

青員外の方と言へども御参加を希望す 申 込 所 満州興信公所内本會事務所(衆郡関七六六番) パジ頭痛にフ 北京 ヤーズ 蒸焼 なる程うまい はらまい 大連三十七八年會幹事 諸症の治療に適け、 大連治療院 00

(三)

養殖は経

州萬屯生産計畫を樹てた

「硫安時代」二十世紀は

第一であらり、そこでこれを現代の状では、一寸通用しないとになる。 一であらり、そこでこれを現代の状では、一寸通用しないとになる。 本の確では、一寸通用しないとになる。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。 であらり、そこでこれを現代の状である。

金!

金!

金!金の米國

金儲けは世に出る手段

儲けて了へばアツサリ投出す

CED

弗と米人氣質……田畑 為彦

を作ること、なったが改めて書かれば書代野の前代は流石特を取り 金を動脈における一般銀行の紫積を想見 を作ること、なったが改めて書 をを動脈にを呈せるため前期より を発展した。 を記されてある。

前年同期より實に六分二厘 一分四厘方 低落 即日覧行された 即日覧行された 即日覧行された **廢** 臺銀調查會 會と共に

撫順炭の南支地盤を

印度炭が切崩す 圓爲替高を利用して 英政府の援助の下に

大連の油房界 更生の機運 全能力の三分の二を發揮し

漸く活況を帶び來る

1、0次枚 三至03

期五日限

前半の利益を 後半で喰込む 露支紛争で有卦に入った

銀行も金解禁で打撃

安東県別所の祭園は前別のに 後期器越を計上し降るの紅 後期器越を計上し降るの紅 大正四年春以来の紅来高 は大正四年春以来の紅 本 で盛祝を福めた

形交換高分

會株連 市西通(排込資)

סויינו או

當、銀行繁観からは全く不可能とが如、昭和五年度上学師からの壁が知、昭和五年度上学師からの壁 红 濟 壮

来

8

マンになり度いと云

て近来質ひが減り

况

(可認用便郵道三規)

ます

前月より

小賣物

價

ので弊減程度に差があり接合簡析ので弊減程度に差があり接合簡析 上高低の欧が生じ列車に強烈を が無難機を用むで域時間に安備に が無難機を用むで域時間に安備に が無難機を用むで域時間に安備に

豆信會社增

平成子 中四日開催することに決定したが常期より四厘二毛機を取入においては創立以来の上下を示し従って一期程度の下が常期まないには創立以来の通りに対し前期より四厘二毛機を下入分配常と内定し株主機会を入分配では、1年上の日開催することに決定した。

大連線神信託會社では四日市 大連線神信託會社では四日市 を開催し本年度下半期和第の を別な人際情報表積は既報の を了した。常期表積は既報の を引出な分配常も可能なるも時 提上株主観會は二十三日情報 定した電期損益計算機管・一期 定した電期損益計算機管・一期 定した電期損益計算機管・一期 定した電期損益計算機管・一期

子のスタカリ手に入った此交換りあつて落ちついたものだと権材影が

O開館御披簾のため 秋田仲一・砂田駒子主演

以を触らせた。 ははで見なのだった。 はずで見なのだった。 はずで見なのだった。 ははななのだった。 をして心の方へ でった返の器域の質点の上に、お

女優志願

野止めた男の職を邦貞

るを答だっお京、 で嘘をつけっお前

矢 型 コンス時代劇 コンス時代劇

保力が減り対象の無い人

▲如斯人は滋養料○ミツワ規那

第二年 明 か 明 に 使って 一、

・電便や解鍵の養婦を早く 「観響文は勇協して被れた 人のである。

鐵葡萄酒を用ひらるべし▲

名がリン・テイン・テインキ

料进强。此今

味 血

色興

以滋養力偉大

3

7

0

理店

ーナー・ブラザ

芥語版の単hローマンス

お職の方の被に、質量の刺

云つた。

似ちゃるねエのか」

大祭とはイヤハヤ 遊樂館の

』郎次海內河大

城

#

化學工業博寶

曹銀牌受領繼東京博覽會優良園産實牌受領

1243

規那鐵葡萄酒。圖點

新日の設惠千両片

乗員の間を見たの 女は、採員の鍵から層を離して つと乗員の鍵から層を離して

いたらし

「それみろ、関連め!比関からわしたも漢子が見えてむた。 購入はしたも漢子が見えてむた。 購入はで散樂の話など持出しやがつて、夫がっていた。 されに相違あるめエ」「そんたことは、あたしの知つた

青年漁山駅の北形館中震成者及び 大漁漁駅を備閣天際は五日より五 大漁漁駅を備閣天際は五日より五

9

りと称んだ教育、教養

即待:.....

大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階 大連市紀伊町建築協會三階

科毒

器梅

介治 中

而

我貞は無幅の限で、陳十

(四

安

(190)

AAAAAAAAAAAAAAA

にエ

B

畫作

「お前、 野真に 螺でやがる」だらう。 あの 対解に 螺でやがる」 的な冷笑を走らせたばかりで戦った。片照に反抗

激しい呼吸づかひになつ

ムり云つて唇を聞むお京の

「お京、お前邦貞の墓屋で何をしてお京ーー」 書の水管と共に少時流れた後い 苦蛆を噛んだやうな驚だつた。

「何をやつてたんだ!云つてみろ ・ らは勝月ですが、女優になりたいといよ親さんかあるのですが、女優になりたいないよ親さんかあるのですが、女優になりたいないでは、一覧でもついたが、一向に女優お願者の話っなりに存付妻子呼び出しの興趣一幕でしたものと発明、あの落をでしたものと異明、あの落をなり、一覧をうしたのかと成るを繋ぎ下したものと異明、あの落を変き下したものと異明、あの落を変き下したものと異明、あの落

であの戦火したあどけない人形のであの戦火したあどけない人形のであり戦火したあどけない人形の

品安格るな主

曲 ALLEA TO THE **際**内

八七、八日

公园

特製羽子板陣

列會

五日より

公

日より 映る時代

我真は概を開けて見たの

たので、中はり見當

日本 見八 大 傳
中村梅太郎・片桐恒男共演
市村梅太郎・片桐恒男共演
市が梅太郎・片桐恒男共演

学・・・
参らしい類合せ・・・
を関する。

「大文を図する。

「大文を図する。 「大文を図す ・助之霽東阪人愛がラレウ 演主子品早千 開具要狗天

端結完 縛 児 給 砂二 質問章・助之等村中・産時資志 技速井駒・子春泉・子器集 一・全てつ機を開四重尾森・見端異 上村和子主旗 君戀しの時代映事 作近松門左工門 盗小平

關機器一人二役 券記

御期待,

書化

女女 れ

富马 8

銀潘 提廣西 五二三四話電



資本金

堂千

萬

婦人の病は婦 永 本 等東京三越の特選品 七日より三階 大山通

大連

陳馨貯金口座東京七一〇 支店

たしますい 原式羽毛蒲團購買會募集 青島本店 T 知 せ

大原商會大連支店

支店所在地

范家鸟、美雅、当林、姚明、本振卿、安斯、與耶森 念州。、 参照店、 獅子鷹、 袋山、 熊犬、 小画編 · 桑 振替(大連)三三〇 井



酒は伏見の高級銘酒 辻利 ル

樽は吉野の甲付樽

電話五九00番 六〇〇〇街

北九七 尺尺尺寸 ×××法 洋間に相應し、短数優美、何 英御毛製 至日至日至日

假格至康の三幅揃

五二〇〇八二 〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

大ケ月満了

會株社式 滿

洲



貴下中央の位置に据り時局を收拾せられよ、余は貴下の出馬を待ちの山気の力を以ては圓滿解決困難と思惟せらる、願はくば左の如く通電し、下野を表明した

石軍と呼應して 政府軍は滁州で武装解除さる

叛亂は閻氏の指金 ひ軍費を給することを含さず、 香人は今や霧に中央政府を主宰 する能力なしと認めざるを得ず する能力なしと認めざるを得ず ・唐生智氏から に上げ五日数々 J 脈州に在る膨生 で見き語

中止し和平倉跡を招集せよとの電 でいること明かであるので獨立 は世れが貴早や輸貨委氏と通 態度濃厚

植民地豫算の

復活を要求

佛伊均勢

商務官設置要望

近く政府要路に陳情

滿洲關

係の

佛國は反對

約九百萬圓拓務省から

要とすること云ふまでもたく掘りて悪難之を持へる必要があるのでで無難之を持へる必要があるのでに、これを表情である。

市職入は之を大目に見現は故意に、 大面の手、に於ても相當多 く行はれて居るに続らず支那人の

抵ぶ諸機関の貨車級に支障を

共同警告は寧ろ

平和交渉を妨じ

リトヴィノフ氏罵倒

は変形能は一部日側及び唯一

でで、 でで、 の映画に好める事 の映画に好める事

法權問題ご

益世報反對

佛國態度

無當局と復活要求に聞し協議の結果を主を特別會試験第中医定整動 地五年度特別會試験第中医定整動 地五年度特別會試験第中医定整動 在り極端な緊縮をなし得ざる植民地は軽荷酢栗砂蓮の途上

大学を記し 省政府、公 ・大学を記し 省政府、公 ・大学を記し 省政府、公 ・大学を記し 省政府、公

二時安塗内相と甑罩街機脈で膨脱。【東京五日製電』小泉脈相は午後 小泉安達兩相懇談

『東京五日換電』 貴族院公正館

主力艦を

五千噸に

引下

西國首相の

題となってある

立憲政治宣言

藤田會頭の

当露温便論者 「月三日期かれることに狭定した当露温便論者」 「ハーク四日愛電」ドイツ際戦は 意振に騙する郷三国へーノの職会

は本日回答を頭し「映極大神で動物の影響に使ればフランスは影明した。 おの影響に使ればフランスは影明した。 がの影響に使ればフランスは影明した。 がの影響に使ればフランスは影明した。

グ會議

民間之に附随するもの多く緊

等の理由に依り左配の復活要求を

放行單問題の

松本的對策

拓務省當局の意見

1、四〇〇

主一十る響であると 「東京五千順に現下げる事な振彩」 佛首相伊大使 一角 医二萬五千順に現下げる事な振彩 佛首相伊大使

軍縮問題協議

である

英國から提案せん

書を發し標選挙を行ふべく地倫中 政治の膨脹を押しスペインを立版 政治の膨脹を押しスペインを立版 は張素

横大ない、配も之に整要する電下 神に向って脱情、脱潰する響にない。配も之にを翻覧が良力を開催として変してを整要されて 事に向って脱情、脱潰する響にない。配も之に整要者の対便として在外 は使に英、米、寒、霜、変、れ、変、れ、変、ない。 でもり現在之を配置されて が、変、ない。 でもり現在之を配置されて が、変して在外 はない。 でもり現在之を配置されて が、変して在外 はない。 でもり現在之を配置されて はない。 でもりまする。 はない。 はない。

親曹昭首 公理官(四等)

三五八一四八一

で変らない、他して京殿線情閣に は不過となり、美口に在る郷跡して四 は不過となり、美口に在る郷跡して四 は不過となり、美口に在る郷跡して四 は不過となり、美口に在る郷跡は でから、東京の武

石軍と政府軍

激戦を交ゆ

浦口西方華旗宮で

| 南京五日頭は | 石友三郎と政府 | へ夜に入り砂駅放くとして補口の脚京五日頭は | 石友三郎と政府 | へ夜に入り砂駅放くとして補口の

趙氏太原へ急行

閣氏に時局收拾依頼

| 情京五日観覧|| 監察院長趙城文 | 山氏の南下を求めて時局の職決を | 情京五日観覧|| 監察院長趙城文 | 山氏の南下を求めて時局の職決を | は新たたる方面に展開するもの | は新たたる方面に展開するもの | は新たたる方面に展開するもの | は新たたる方面に展開するもの

なさず城内版入商品に戦し版に し来ったが配も旅の如き し来ったが配も旅の如き

の大家實熈氏を訪ふ

(L)

が飲んたる所は中

とも十分協議して見るつもりでをいと思ふが是等の獣に就ては、 被底的の方法を講ざるより外はないと思ふが是等の獣に就てはないと思ふが是等の獣に就ては

左の間し 本年度豫算總額に比し一億四千本年度豫算總額に比し一億四千十五百萬弗・文と以年度一億二千二百萬弗・文と以年度一億二千二百萬弗・文と以年度一億二千五百萬弗・東 は本年度一億四千百萬弗・東 は本年度一億四千五百萬弗・東

商埠地に於ける保税倉庫の建

放行軍作製の形式、手續等の

初鮮関境における密輸入の収せんとするには

十八億三千餘萬邪で豫葉内容は無紫を振進した、豫某職額は本日賦命に一九三一年戦級は本日賦命に一九三一年

武漢の風雲急

萬軍中央軍を撃破し

であるが之に配て統御省書間の意味に使った。大学ので表面所の理解との取引とかので表面所の理解との取引に使って表面所の理解との取引を必要とするので表面所の理解との取引を必要とするので表面所の理解との取引を必要とするので表面が立て配って表面が必要を必要といるが、とは、一重には、一つであるが、というでは、一つであるが、というでは、一つであるが、というでは、一つであるが、というでは、一つであるが、というでは、一つであるが、というでは、一つであるが、というでは、これが、できない。

OTI

支那で現在書の大家として なのは四川の趙熙、天津の脈 北京の興熙との三氏であるが では賽熈片が癒一と解せられ

楷書では支那隨一

仙人のやうな老翁

宜昌に迫る

程費し自己の軍隊以外は約に從 見を聞くに左の如くである。 群氏は素りに兵を動かし関格を であるが之に就で抗神省當局 鞭に依る解決方を希認して居

區劃改正は可能選擧權の擴張と

法改正の方針

野ないを強くしても交渉人に就て最も核心さ 家が信も晴れた秋の夜中を彩る屋 でもあるりとでもあるりと関係に残なのは古光野にしてみるか、書は人様の反映だと云ふのの をでもあるりしても支渉人に皮はな の上がけの数もないや 学を何よりも大切にしてみるか であるところに便量がある。よいでもあるが、書に対してあるが、書の上がけの数もないや 学を何よりも大切にしてみるか であるところに便量がある。よいのでものではいってものでは関係に要な形人は断量家と云つてよ 地球屋の書いたものでは開係にあるをおいるのでは 世で報話は来かられぬ。古米様は か成は高額なる人権者とかの総に ならぬものはない。これ似の大家

い歴形に字を書く。で安郷には書

THE

一大二 【サイベリヤ丸五日發無電】本

米國豫算卅八億 本年より一億四千萬圓減少

第二回會議

平穏な航海

とになつたが、私が就任以来統 になった、氏は語る

北平における氏の名歌は素晴しいもので氏の書いたものは総合紙の中に致玉のや

を映べる。用紙の低人をつくりで を映べる。用紙の低と表に見える。 を映べる。用紙の低を開発を開始して、落ついた物脈や開かして、落ついた物脈や関からを表に見える。 を映べる。用紙の低を含に見える。 を映べる。用紙の低人をつくりで を映べる。用紙の低人をつくりで

院道を提案しロシヤはこれを無臓、骨薬養疣な事性もたって正式会験を開く前東西網囲業の、目音観はハルビンに於て、「ハルビン特質五日及川菱道升氏」建くと「本年内開発し、

國境は開通

は、日から覚測の形とは東東衛建局は、日から覚測のバルビン特徴五日和二十二月一 露支和平に 立しやうといふ意無込み▲そこを開始したが十四時間の肥健を

放つて置 警備の充實 人事異動は多少ある 殿世中谷警務局長談 けぬ

神戸出税のばいかる丸で顕代する 他の用務を帶びて上京中の中谷駅 他の用務を帶びて上京中の中谷駅 では、日夜九時東京砂、七日

下に於ける整官の殉職

『ハルピンヤ栗五 u 製】 領事賠償 すやう支那館に要求した を要求

大連無礙電信局長業務ヲ免ス 関東聯遞信冑長業務ヲ免ス 同 和多野糖線

任陽東縣通信聯事務官(六等)

補大連無線電信后を

後場《出來不申》

100mm 大利 1

日名推翻は左の如く反跳か見を繰りな使の後代ならんとの歌につき本

富士とさくら急行名札

大北方に膨脱しつよるる、流石に 大北方に膨脱しつよるる、流石に 大北方に膨脱しつよるる、流石に 大北方に膨脱しつよるる、流石に 大北方に膨脱しつよるる、流石に

乗りのお客さんにチェッコ公使が家族を連れて富士列車で旅行に出かけたところ輝娘の特急列車に取付けられた隨つて富士列車さくら列車と云へば時間が分る標になつた一日朝の本一の富士、日本獨特のさくらを型どつた名札が毎日の午前九時四十五分にさくら十時に富士と東

南征雜錄

整を置したが、更に始政営時三十を唱へるそうになつた、斯くて土を唱へるそうになった。斯くて土

た、之を電場上の数字に沈いて樹 だ、之を電場上の数字に沈いて樹 満歩して居る、即ち過半彼等の際 動場と見るべき蹴魚ル酸魚 動場と見るべき蹴魚ル酸魚 がして居る、即ち過半彼等の際

り、昭和二年度の六百十三萬

两公前町六九 解科辦3

党請人二〇三

モミ 機治御好みの方は

佐婆 下腹トキー

常木丈太郎 電話四六二九番

薬及治療

後者に於ては同じく

程度から間進的に二千世、三千

至四千万百冊、比較的土覧の劣位だつた土地價格は今や四千冊

| 日る、勿論明人在門者中にも百萬 | 一日の、五川の燃料が四十回番となってと関係にも好影響を與って

左れば人口の際に於ても三十年

したなど、以てその間の消息を

即ち一時最も無道はれ

東藤術五丁月二三 大連樂命会 聖藤術五丁月二三 大連樂命会

チチ

チチ モミ大選 電話四六ルニ番 常条大丈太郎 電話四六ルニ番

お灸病

かけつざ師表類切象表標別で五番地で、高野山前、松坂梅代

楽は

モシカリ薬同

引越荷物貨物運送

かタクシー

近婦及乳見の細預り

クサ

大車劃場等根本襲司電ビ クサ 及體館の特 及體館の特

以上の成功者は数名あるが、

百萬に就して内地人は二十萬に過ぎぬ、随つて商家はが論、特別の 百三十五鷹を唱べ、うち本島人四三百萬と概稱された数字は今や四

古い資産家は低れて新進の 大陸から見て内地への他力は近本 大陸から見て内地への他力は近本 大陸から見て内地への他力は近本

石友三軍の兵機、それが開鍋 順調に進む

電響を要談されてもた大官屯 のでナー月中の深遊感動二萬六百 三車大十八萬順に達し昨年同月の ス萬順を仕向地別に示せば次の**如** △大鴻埠頭三十二萬喇(大部分輸

本 (本学) である因、本年・月の同様は (本学) である因、本年・月の同様 (本学) であると (本学) である (大連方面地質 (自足房店至大連) であると (本学) になっていません。



(根壁)、一般ではなくして途に暴力的事ではなくして途に暴力的事ではなくして途に暴力的事が、一般に要して過日来一斉に大きない。 一般に対して過日来一方に対して過日来一方に対して過日来一方に

機定 がに際し公安局と海標するに がに際し公安局長見監構は会離が がに際し公安局長見監構は会離が

合せた模様でまた一般には省官派の以上四ヶ原は連日實行すべしと申り

満洲里の消息 尚ほ不明 金對宮帖和製は二百

氣遣はれる在住邦人 谷方面で連絡に腐心 全の機関でも一日も早く満州里との を対は 脱へてをらぬとのことで である、日本糖領事館、 浦縄英他 である、日本糖領事館、 浦縄英他 る支那雌が柳人容易に便宜を 動者をとることに急いであるが、 度内に成立しても東行駅によって をらないかり東行が開いても明年 をらないかり東行が開いても明年 をらないかり東行が開いても明年 魔で需麦交渉が髋合和平側に本年の現状では特は一寸場合はない、

ぬので略各機関では焦慮するばか

では一般である」と云ふ情報以外に は一般である」と云ふ情報以外に は一般である」と云ふ情報以外に が一端の壁も対明して、 でかい。 は一般である」と云ふ情報以外に が一端の壁を対明して、 でかい。

100円の対象は一切不明で使かれた。 100円の対象は一切不明で使かれた。 100円の今日、満洲里に 100円の今日、満洲里に 100円の今日、満洲里に 100円の今日、満洲里に 100円の今日、満洲里に

第二次 は飛速町鈴木 ライト高質を載光の大き派 なれば豊夜撮影の大き派 地町三丁月 第二章 大連湾質館産 で撮影の ・ 大連湾質館産 で撮影男女 吉野町二六 一萬営幣七八五九

は触り感染して居ないやうだが衣 者さべ少なくない。又日本の風俗 者が、少なくない。又日本の風俗

脳膜の資料は益べ日本化して

ラヂ 五球 第品付百五園より百五十 加密品付百五園より百五十 大石園とり百五十 加密

市の身體強健なる男子本人来談、下の身體強健なる男子本人来談、下の身體強健なる男子本人来談、 大陸四級新海南 将上日 羽月酒店

小寿藥局

日本六大の大日

皮膚病 野中醫院 大連の香野町ニュ





ホネッギ





し取取保持と直ちに之を逮捕の上一衆ったが、身後は目下試音を長趙維損比の耳に入り大に残黙 一日吉林勝司会部取送書に無敗戦に民家を掠奪した事が其後が 凝淡官屋翻洲以下兵士六名で 市手段 日で去る 五大縣本部に物類以鵬中であるが

サイカー を ・ 大方一回 の ・ 大一回 ・ 大一回 の ・ 一回 の ・ 大一回 の ・ 大一回

信用 大口賃金及手彩網リー 電流・大八八一番

貸衣 器關

がたじまや電大人〇一番

案内

京大連二葉町大〇 南大連二葉町大〇

緒は

支那また大に

撫順炭の發送

四萬五千順(地費) 五萬一千順(內五五%

五萬明〈內三萬六千明

(华分輪出

十一月に六十八萬噸

昨年よりは五萬七千噸増加

今日を以て明日を一た大に乱にんとすか。

滿 洲

日報

城内錢鈔業者に 金票の取引は皆無 臭大な罰金

狼犬

河村着岩

小店 員入用十六歳迄履際書持 安計 山縣通一三五 演鳴商店 変に登れる人用 大事天 カフェーナクラ

影響を続り黙金砂票相場は陰落が

近の時局関係と解演問題とと対象と 特產東行

大家 初香町高春食堂殿接着職所 大学間 1000円 ある 1000円 で学聞さべ、大、六和明八九 下学聞さべ、大、六和明八九 下学聞さべ、大、六和明八九 大山地 中等原無電話六一六一 小林又小支店

名刺

大山道(日本橋近) 吉 野 就 「電話八五九八書

中華 邦文タイプライター印書 大連市大山面 日本タイプライタ自此 山際面 日本タイプライタ自此 小林文七夕吉 小林文七夕吉 間宮式其他各

所向)六〇周 電ニー三〇二 東五〇周六間一戸〈事務

御利用は最も便利であり

西の三三三部電

金庫 間宮式手提金庫 日支英米専賃特許 山形洋行 電子 大流線式一切百四十週沿 東京 大流線式 一切百四十週沿 東京 大流線式 一切百四十週沿 東京 大流線式 一切百四十週沿 東京 大流線式 一切 1 大流線式 一切 1 大流線式 一切 1 大流線 1 大流線

一般の国屋省を

尿淡腐皮 重 展 J坦広西·社经索·自西迪大

一、各語家は蘭今(電分)取引所に 一、低に契約濟みの金票は五日後 に於て金票を賣買せざる事 変謝ならでは見られない間である。 前沿間金八百五十萬品は園郷川郡 明春まで 不可 英文 及邦文タイピスト生頃劇 英學會 一次北側裏 英學會

邦文 タイピスト短期帯成

牛乳バタークリーム
東語四五三七番

午後夜間寄宿舍有設 英學會

金融市場 に一大戦級を務った、然し省政府當局では 大が恢復を贈る上に何等所挑辩が 大が恢復を贈る上に何等所挑辩が

中乳 なら大正教者 伊勢町入九龍七七七二、九州八川 伊勢町入九龍七七七二、九州八川

質益の御用命は

電五四三九

習字。洪成教授董夜

三河町

戰八六七五

凡利金號

生花 成花、材料 大連浪递町

牛乳バ

バタークリーム

集比須町九停留市西入 帝岡 勝敗のにお世新致します の方、貸し度家

門札 勝戸物へ彫り込み 三河町二 池内 配入六七五 一河町二 池内 配入六七五 大連撃城町通五八 南海紫眉山 大連撃城町通五八 南海紫眉山

安田金庫) 滿州代理店

山

森郷町三三 谷澤 電大六六二 連盟 浩峰理技術本位 洋行

ラデ オは何でも大勉強 高級場所品品機能理 高級場所品品機能理 高話八七二二書

御一報文第多少に係らず迅速町郷 御一報文第多少に係らず迅速町郷 大速西道二丁目 大連西道二丁目

注股頻落對 一流後屋等西

裁助中田-

参語八五七五半

洪賀品中喪·

早川鶴とり後入時だり、大道西藩九三(常縣橋近) 大道西藩九三(常縣橋近) 大道西藩九三(常縣橋近) 専門のヤナギヤ

大連唯一の大連唯一の 東東東 伊勢町(回本梅縣) **宣明** 門專科內

前門正場市町濃信

品と並んで風呂歌に列車内の阿片犯人

郵便貯金の増加

四年度上半期の成績

宛を寄はへて居たものを全部駆め

平康里に

棍棒强盗

接邊大隊長の接邊大隊長の

本紙を通じ市民へよろしく個へられたき官を述べた

支那兵が邦人の

衣類家財を掠奪

領事館警察に訴出づ

警官の異動

につき

高等科生修了

鞍

十萬圓位の低利融資を希望するの十六圓を撤除として少くとも百三十六圓を撤除として少くとも百三十六回を撤除として少くとも百三十六回を撤除と

共内を計画別学、 富地唯一の 共内を計画別学、 富地唯一の カフエーカナリヤは今回も春に引 揚げ一帳通で開店する由なるが、 選氏が引受け全部一新し精養軒と 改め營業を繼續する由カナリヤ時 代に倍する御引立を乞ふと

旅順で

お目見得

輸組の成組

講金を詐取し 確ちてゐる

ガ頭と判明とれば、

機能小壁校では近く内地各商店の が特別集中であるが、無々と設附 されて野に敷百殿に達せる模様で されて野に敷百殿に達せる模様で 小學校で開く

馬四四頭を強端が終天保子村落に輪地震が緩延に、十名の馬厩現はれ午前六時同日元拳銃二級長統二級長統二級長統二級長統二級長統二級

情婦と高飛び 被害者から訴へ

優勢な馬城團

取らぬ賞與の マや金算用 世間の不景氣を他所にして

炭礦社員の書入れ月

さなきだに不影響の今日この頃そ を頂金線がに加速である。 というの話で相野を崩してる。 をいとらり種の皮質用に除念がな く手醸しのいよのは 満蒙植物の採集雑話 (1) 潤

第三篇回

ばず連いもあるが、永少なの若い、ボーナス、搬ひと言ふ聞れ、ボーナス、搬ひと言ふ聞れ

便所をたづねて(C) 中昨年の夏であつた、私が締め 一昨年の夏であつた、私が締め 一昨年の夏であつた、私が締め 上宿ったであらう、私は野家なことに露番も支那番も話せないもの とに露番も支那番も話せないもの

た 表月十四日距离子大川は部下三十た 表月十四日距离子大川は部下三十た 表月十四日距离子大川は部下三十た 表月十四日距离子大川は部下三十

昭和四年十二月四日

大石橋支局長

洲日報社

祖の面り二日第十七列車にて重要

盛んな出迎

城團三交戦

でも通 ストラか、その総料はどうなつて 現れるだらうか、その総料はどうなつて 現れるだらうか、その総料はどうなつて 水 たるべき減命を待つてるたらうか、今度は かって来た、まあ自分の部屋へ舞つて来た、まあ自分の部屋へ舞つて来た。まれをして合業しお願になつて 東機の部屋の戸を開けるや本もの とまれをして合業しお願に及んだ しば しょまれをして合業しお願に及んだ とまって来り と笑って とまれをして とまって来り と笑っ とまれをして とまって来り と笑っ とまれをして とまって とば とまれを して とまって とばい きるから

土曜講座で

あるから多数の平職を希望すると ・ おるから多数の平職を希望すると ・ おるから多数の平職を希望に発 ・ 本の「金熊祭」と願すス講演か ・ なるから多数の平職を希望すると

高等科生修うにつき左記の通り巡 高等科生修うにつき左記の通り巡 高等科生修うにつき左記の通り巡 を下へ△庄子誠造管口へ△空間 を配子、△中澤武人公主領へ 全間の を記録する中澤武人公主領へ 本高橋守敬沙河口へ 免渡河以西は 殆ど無警察狀態

不逞の徒が出没掠奪

大石橋

度使へば

仰氣に召す

60

台圖新設隊 〈營兵到着

により左の如く更任いたしました小林才治氏辭任につき小林前支局 林前支局長の推薦

支局長異動社告

在編奏名製者の電影診断は三四の が要談者二百五十一名中観トラホーム販者九名のみで値は全部電影 成職は販好であった 接客業者健 ので四日北六番町派出所

一人二五六研館外五〇人、一日平均

行き減少す

ける地質炭は從天無順炭

順炭の賣

別である、炭酸のお陰へに緊縮内 をと、何に緊縮とROでも 本年も普通質異は酸酸は本様の 本年も普通質異は酸酸は本様の であるから であるから であるから であるから

大に悅に

重役會量役會

化映畵會

大人男一女二小人男一女一計五 出生男九女十一計二十名、死亡 出生男九女十一計二十名、死亡

十一月の死亡者

資金難に喘く

職員のみである事は例年の如くで 職員のみである事は例年の如くで

これは平紫の働き振り如何に佐つ

大に差があり、木棚の十

青訓卒業式

撫順不動產組合

この年の潮をドウ切り拔ける

注目される行く末

選、特別賞異は二十六日位である、 五創沢至三十創位の見書である、

反数は十四件で計三十九件である 1一件計二十五件で外に取締規則違 1一件計二十五件で外に取締規則違 1年計二十五件で外に取締規則違 1年計二十五件で外に取締規則違 1年計二十五件で外に取締規則違 1年計二十五件である する講演もある由 犯罪檢學數

したるものなりとのことである

値下げ

圖書館の成績

満義職書館の十一月中に於ける成 版は左の如し 散書冊数一一、四三三冊前月に 比し一入二册增加、関電圖書冊 世し一入二册增加、関電圖書冊 世間内二、七四六冊館外一、三 二二冊開電八員報内三、二入入

時價三千圓の

阿片を密輸

列車内で檢學さる

本英國貴族アスタ1氏 三日午前 十一時四十六分灌來鞍雙郷所を 和の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日朝臨被 中の認四日明本六 大りなる満洲修懇旅行團の一行 は來る十四日午前十一時四十六 は來る十四日年前十一時四十六

▲守備隊千代野韓務曹長の發任と

マネキ 旅 ガール

大連から呼びるせて 具洋行主が懸命の掛合ひ

危篤の父を殘し 故郷を出發 開原驛頭で計に接す

守備隊美談 世るが勝時に出述へたる官民有志 一代表として管例地で表演長の野遊の 田中隊長の謝鮮ありたる後隊任監 世名が三日飯田中隊長の警察並に同 地名が三日飯田中隊長の警察並に同 で至が三日飯田中隊長の警察並に同 でであが三日飯田中隊長の警察が でである。 ででる。 でである。 ででる。 ででする。 でである。 ででなる。 でである。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 ででな。 ででる。 ででな。 ででる。 ででな。 ででる。 ででな。 ででる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。

肺病 迎 美術陶器 膜に







原



純良無比の人参ヱキズ

で書局は一層取締りを敷にしてものの蘇制品を推済が観光を見するのの「ない」というでは、

てるるが後等は列車階票を命貨と 上した方がよいといふ整総が謎つ でした方がよいといふ整総が謎つ

中洲水田完成

約の際

を連誤事會社の中州木町も で大連誤事會社の中州木町も で表に大場。其他の小工事もは來春に完成する管で数年には大い一般に依る二百五十段町歩の水町。 おびい は来春に完成する管で数年には大いである

四日早朝奉天職事院警察の倉道警が小西脚を巡廻中小西脚大十部衛が小西脚を巡廻中小西脚大十部衛が小西脚を巡廻中小西脚大十一部であるの文那人が居賊される経過であるのの大部人が居城されると一変那人が

鱿火を交へ

蜜柑代用に朝鮮林檎

大連より來率 長富氏(前務易鐵路局長) =

日本音樂の 放送開始

貨物と共に乘降客も増加する

▲登沙河畔 樂事人員 降事人員 保事員(含安那人)

出廻りで賑ふ

を完により内地からの放送を阻害さ 説により内地からの放送を阻害さ であるが強で一部の が変形してあるが強で一部の が変形してあるが強で一部の

品

九日午後六時

好日和に惠まれて

市内紅梅町五番地高原滑一郎氏巡査に関し金五圓也を再版金とし巡査に関し金五圓也を再版金とし

宅記入奉天市街

滿總代理店 餘紅 進

貴金屬製作

大村洋行へ

東京

〇丸見屋商店

營業所

和商會 型錄進星可仕候

高砂工業會社製 威權 界 車轉 0 自

大编山縣區 支店

**契約高の多少に拘らず御電話あり次第係員

多上御相談申**

運送。自動

B號ナイト △號ナイト ス號

HIII

大連市紀伊町二 魚重揮 油油油 テキサコルーフイング、ビ 龍印ポイラーグラハイト 野元番地 車石軸油油 サラダ油 元商店 元

三井物產株式會社 電話代表セーの一番

(圖寫縮包入凾打一・包入函打串・包入函览三型大用能)

御進物さして不相變御利用の程を希上ますと御禮申上げます。當年も亦歲末、年始の御贈答季節には毎度、御用命を賜しり忝な ○ミツワ石織は何處でも特に勉強して販賣して居りますが萬一卸近所で置切等の簡は水槽 振野り座東京七一〇番 電信略號○ミヤ 電話下谷 自一一〇一番 至一一〇五番 東京下谷區二 長町 鹼/后/ קייין •

后回

論 表500Z

見龙

后》自》后

答品には是

年始の

●嵩張らず、破損せず、長く藏つて置く 其品質は良くなる一方で御座います

上に三倍以上も永保が致します故、何れでお用ひになる必需品で、品質が優秀なの。というのはは御子様達から御老人ま の御家庭でも必ず御悦びになります。

居る中に、何だか斡機が私にそ

は、その犬をじつ

れをさづけて、下さつたように

おつしやいました。私は、

こんなにかわいい犬を捨るなん

思ひきつて中に入りました。

お母さんは、おはり仕事をして

した。お母さんは私を見る

中に入る類になれません。だが

犬でした。さむいのでせる、

でした。さむいのでせる、ぶ

た。時々その犬をなでてやつた 私は、道々しんばいして居まし

きゆうに其の犬がかわいそうに

りしました。

なって「アンく」と、ないて

かしら、そんなものすてよっお

お母さんが、おこりは、しない

いでなんて、おつしゃらないか

りを見まわすと、ぶた小屋の前

の方へそろく

した私は、その犬をだいて、家 たつて、いょわしそうけつしん やるに、きまつてる「しかられ きつと「いけない」と、おつし さんが何と、おつしゃるだろ

い、毛のふさくくした可愛い黒唇ました。よく見ると、目の丸

拾つた犬

能岳城小事校五年

かへつて来ました。すると、何私は、一人で品、遊びに行つて

それは、戦日の事でした。

する私は、びつくりして、あた

聞からか小犬のなきごえがしま

日

歐米

風變りな電車

左見福

ところどころ



とうして吹く 低氣壓の話 (中)

氣の重さだ」

へば、地球を取り窓いてゐる窓

「無関といふのはまあ一日に言

「こんな難い窓気にも目方があ

では、 り出る場だい水をなみくと説 り出る場だい水をなみくと説 のやうにキュラーへと冷水摩擦 をしました。一郎さんの冷水摩 響か済んだころにはお父さんは かして下さいし 観をひろげてるま

は

るみち

=

もら居田の食草の上に今朝の新 「お父さん、低無路のお話を聞 一郎さんはお父さんの向側に生

るんですかし 何百世といふ答案を支へてゐる 類の月方が約二貫五百気位だ」 「さうすると、僕等は頭の上に 「窓気といふものはまことに観

ち人間がペシャンコにつぶれて 「ところが、人間の身體の中にしまふぢゃありませんか」 ことになりますねし ったけど不思議ですね、そんな 「おうだ、

常な重さで地球の上を壓しつけ、できずると、私だちは次類の 外の空地と身體の中の容無とが いにはならないのだし よく約合つて居るからおせんべ

類医を測るのに水銀暗時間を使って来る。そして測候所では此の で来る。そして測候所では此の 含んだりすると其の容積が大き くなつて目方が聴くなる、目方 **度が高くなつたり水蒸気を多く**

が即ち無いだ。そこで卒気は進 歴して居る。此の祭祭の賦す力 ころを二貫五百三十四なの力で つまり一寸四方のと 知識で低くなれば即ち 低無い を高く押し上げ無いが貼ければ水銀 水銀が下にさがる。でつまり水 水銀が下にさがる。でつまり水

だ、よいボーイだ」とほ

電話六四一〇番

科

醫

さんにきいてるました。 んは「これは彼のボーイがつく らお取りになつたのかし 達は「大へんおいしい、どこか くつて出しましたら、おぞ

日本料理も上手で近頭はお母さ した。 と、お客さん遊は戯むし いしいくことはめておられまと、お客さん遊は戯むして「お



「えーと、まだ時間はあるな、

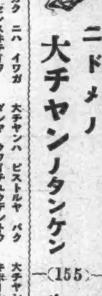
つてお豚の上にキテンと手を置

イブツノ アトヲ オヒカケヤ 「サア コノ ボートデ クワ ウカベ オリタタミシキノ ポ

のとを話さなければならないな

「無脳って何ですか」

ナドヲ ヨウイシテ センスキ ニ タノミ ボートニハ 大チ ナドヲヤ クワイチュウデントウ センスキ



デカケマシタ。 キマシタ。」



てゐるわけですねし 手なので、皆から「よいポ

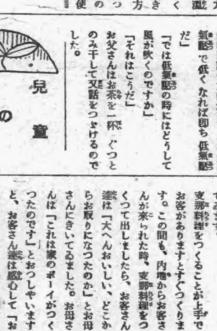
のみ干して交話をつまけるので

す。もう、僕の家へ来てから八 家のボーイは、大層役に立ちま 年にもなりますので、日本語も 家のボーイ 松林小単校韓四 「これはきつと、狂犬病からしれないよ」 ておられます。

下をスースー風が吹き通して見るからに放しさらでしたの寫取はなどの電車は洗石器いところだけに車派の極板がなく乗客の脚の子を見下すことが出来ている気持ちです。シンガポール、カイロー

香港のクインスロードを建つてゐる二階付電車でする

上海には無軌道貫車がありますが、二階付の電車を見るのは初め上海には無軌道貫車がありますが、二階付の電車を見るのは初め所襲れば品襲る。香港の様には二階のある電車が港つてゐます。



酒清等值

一本日高養殖

がよいかね等ときく歴になりました。来た時には何もわからなした。来た時には何もわからな





を御願します

大連市浪速町

說明書進呈▼

取て推奨す 諸病恢復期・ 悉性慢性貧血 変不良に…………

" 店商吉友澤康,三町區並畝大

斯界 米國コナ 誇

大景品付 B

體器

絕對責任保證

メーカー電話四七七六番

洋服、スエ 他附屬品

御婦人御子供オーバ、 ター、毛糸、子供ヱプロン

石一保各 溫種 ッ 料+ ッ では、「国主人が、上海市条町十五番地 突グ式グ

朝各煖石種屋綿

スー

房綿

用製

紅魯名台納嘉

煙 杏 稻 清く軟く 快よき 其の味い MAGNUMS Three Castles" Cigarettes WD.&H.O.Wills Bristol & London

して下さるにきまつて居ると思 とりかかりました。 ひました。私はお父さんを、よで、私はなんだか心さびしく思 それから何ケ月か掘ちました。

ておられましたの私は、お母さ と、おつしゃつた切り小犬を見 した。お母さんは、 んの、顔色をなっらかがいなか 「ね、お母さん、 いんでせら」 て居ました。穏は、大きな、こて居ました。穏は、大きな、とであれば、倉庫の中で、何かしていました。お 表で。 だて」もいるでせら 犬の子をひろつたからうちでそ 「お父さん、あのね、かわい」

かつと

ひだからでせらる心のなかでは

した。お母さんは、犬が、

た。そして投棄が、すむ

その日私は學校に行つてす と、おつしいました。

ぶようにして家にかへりました

らん離を、していらつしやいまとを話すと、おかあさんは、し

お母さんに、さつそく、そのこ は小をどりしてよろこびました

のかしと思って、いらつしゃる

「やつかいな、犬を、そだてる

お母さんに、

「黒はどうなつて?」

のだろうと、風ひました。

は、きのどくそうに、

と、おきょしますとった母さ

たぜかと言へば、お父さんは大 へん犬ずきだからきつと、ゆる との、ごんへんじの私は、うれ 「お父さんに、聞いてごらん」 ききました。 たまりませんでした がら たのお父さんは、にこくしな さんの前につき出して見せまし といつて、その犬の子を、お父

でそだててもいいだろうし 仕事に、とりかかりました。私と、おつしやつてお父さんは又 「はょう、かわいい犬だねの家

分で勝手に「黒」と言ふれをつけました。此の犬は毛が黒かつたからです。 私は誰にもそうだんせづに、自

んをもつて行くと、黒は、口かれをもつて行くと、黒はだんと、大きくなりました せんのいつもなら私が行くと。 今日はどうしたことかこないの よろこんでとびついて来るのに くるしそうにして居ました。そ らばきとくよだれを、出して して、ごはんをたべようとしま

私はそこを、見つめて

に、行つて居るだらうたし てゐるのだ、今頃は、ごくらく『無はこの土の中に殆たくなつ

fiを聞いて行って見ると、地が 所を聞いて行って見ると、地が がつかりしました。 と、おつしゃいましたの私は、 そう思ふと、私はかなしくなり では、ないのか」 ぼうで、ころしたのよ」 こまるから、支那人が、てつ

と、思ふとひとりでに硬

支那チーム中の强豪

けさ天潮丸で着連

外傷百名

市民へ謝電

中央後生す

肌路浮標を繋留

航路を制定、船舶の便宜を圖る

満鐵が七萬圓を投じて

か出れ スカーフセ

スエター

レッシングガウン

スエター

計画 加までき

欠カーフ

自動車の衝突

を 学賞を得たギリシヤ人エヌケイベ 学賞を得たギリシヤ人エヌケイベ の は五日入港の隣丸で大連に

一大連市見玉町一本田三軒でといる。 一大連市見玉町一本田三軒でといる。 一大連常陸町六五鈴木勇で大連常陸町六五鈴木勇で大連常陸町六五鈴木勇である。 一大連常陸町六五鈴木勇でといる。 一大連常陸町六五鈴木勇でといる。 「大連市見玉町一本田三軒でといる。 「大連市見玉町一本田三軒でといる。 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見工・「「「大連市見」。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見玉町一本田三軒でといる。」 「大連市見工・「「大連市見」。」 「大連市見工・「「大連市見」。」 「大連市見工・「「「大連市見」。」 「大連市見工・「「「大連市」。」 「大連市見」。 「大連市」。 「大連市」 「大連市」。 「大連市」 「大連市

・肥に移掘は完成したが 連郷順との間に小溪湾。 ですると、

貴金屬を窃い

別総立意の上消火器の効力試験 東機関場において水上器、埠頭消 単頭でに五日午後零時間より機関 場面でに五日午後零時間より機関

ワイシャット

英国級 漆

七七日日吉町中村銀工所蔵と得 て市ス伊勢町五二蓄武器商築町 三と矢吹原助方より装置器商築町

概律可會所に於て開

溢

一類なり、 一類なれ、午前十一時間所三 でされ、午前十一時間所三 ではれ、午前十一時間所三 ではれ、午前十一時間所三 協和會館に溢る 聽衆を全 電気が 電気が は左の如く 臓器した は左の如く 臓器した

アンコールに次ぐアーコール 藤原氏獨唱會の盛況

結核療養所は 明年初冬に開所 激地は多分小平息

開を完備すること」も既に完成し 開を完備すること」も既に完成し 関係を完備すること」も既に完成し に完成し

し、氏が傷意中の得慮とする『マ ひと は、数回に取つてアンコールをな は

召喚せらる

八田前次官

【東京五日号電】前標道次官入田 歸宅を許さる

選あらせられた (東京五日設置) 東久瀬宮殿下 には今朝十時半世田ヶ谷の國士 には今朝十時半世田ヶ谷の國士 にはらせられ生徒の敷枝を台 のである。 ではり子後一時朝頃

、大社および泰川日 横であっ、森に、 大社および泰川日 横であっ、森に、 東京 東京 東京 和 東オリムピック大會支那代表の長は藍紫管に引率され 定であるが、同テームは明年の福祉、新州 東オリムピック大會支那代表の長

來、如鮮木浦州合品來、如鮮木浦州合品

外京門を全域、釜山駅駅野の屋根 火でよる ・ 「東東神楽五は投」五日朝五時四 裏を年頃して八時観火したが、英 ・ 「東東神楽五は投」五日朝五時四 裏を年頃して八時観火したが、英 ・ 「東東神楽五は投」五日朝五時四 裏を年頃して八時観火したが、英 消防手二名燒死 昨曉、釜山榮町の火事で

皮肉な好景氣よ

病氣は緊縮時代にも遠慮なし 大連醫院覗く記

ある。 つの観聴を大別も得られます。夏のに生活してゐること」なるので は、夏の親と李の咽喉と云つた二 美別の親と李の咽喉と云つた二

の二萬三千七十九人に比べる 一つばいの思者數は、外来二 千八百九十七人、で表等の十

してこの多はまだく

資相知問屋

相變らず病院繁昌

八子 一般 一種 直端 二畑 語り 油

無音樂機能小紋初

戦を確じて市民各位の領隊激

件公判

資 メリヤス(上下) き

た 浪

洋

行

0

御

딞

玉の神神和事件の第二国公司 を経体にて製理を進められたが を経体にて製理を進められたが をはたしたいて小田判官、画井 が離上砂利線網に即いては一 の神神和事件の第二国公司 がはたいで、田利官、画井 がはたいでは、一 の神神和事件の第二国公司 の神神和事件の第二国公司 の神神和事件の第二国公司

ベレー自動研安全制刀

0 は

> 洋 行

共通商品切手と 浪華洋行。商品券 市門一端十七前店 新編が悪いのまる 漢事作行の商品学 失過商品會









羽根蒲團



で脈脈蜿氏を相手に交節した時、線れ態度は有名なもの、山東遮附

蔣夫人は避難

植民地特別會計

來週大蔵省議で査定

和問題の話が異なの妙観になったとは新頭見だ」と呼べた。「サイペリア丸四日漫無電」若談条體は午後サロンに出で不思く話してある内にすつかり織った」とより中間代で和問題、支那の沿外波域が感、著知機全種は「今日は荒天のため少し野痛気味だったが博士・お戦く話してある内にすつかり織った」とより地域が感、著名機会種は「今日は荒天のため少し野痛気味だったが博士・お戦を動している。

制見當切下げか

明年度豫算

物價低落ご勞銀安を見込んで

所案は審議着手

いや華麗の交渉

料中正の幸祉、

受くるは明瞭っ

と 省は来源が人名戦を開いて之を査 し 板物省では 来源の上水源中に大阪

笑した

支那公使就任を

討蔣護黨救國軍驅 局は俄然重 蔣氏直系軍は各方面に散在し は狼獣の傷に恋してみる は狼獣の傷に恋してみる は狼獣の傷に恋してみる 南京政府極度に狼狽

らであると信ぜらる

いたと語つてあたが、外職と呼鸟貝爾の歌唱は機種的に執行し支那骨縁は逃げ外襲戦が来り居住を論さぬので溜のみ強のまり、【ハルビン特別国の發】札楽諸賓から遊職して来たロシア人は

共同動告を

湯田郡郷氏を大使館は本官衆任と 氏を起用せばエユーヨーク 順係事

鮮任せん

其代理を敵めしめること」なる

『ハルピン特徴五日歌』高を交送し

張長官は留任か

政果

の淨化を期待

法を改正し

軍大擧攻撃せば 不透線。魔鬼方面などに四散し居而して蔣允石直飛車は今や漢口。 第二軍可令 陳 第五軍司令 第四軍司令

の秘索また」く助と見られ事態に をに、取動六半萬元末他離食物を 一朝日中に猛い撃に戦すれば南京 の秘索また」く助と見られ事態で というない。 の秘密また」とは、 ののというない。 ののでは、 のので 総理解其他につき総職を進めてるなほぼ割別人の一部にては認に避られてるる ると、自然は関視現状と (動で 日本は之を推薦した。日本の不同 関は激越の国際をもつて職歌 ない、信ずべき筋の報道に依れば 関に教師のは形を名として強かして居 三側の影響につき本日のロシア新 戦し充分日本の目除を狭隘し日本 た気響は正に楽調直接交渉を不 関係 野し充分日本の目除を狭隘し日本 と論じてるる と論じてるる

軍縮全權増員か 英米に比し不足せるため

三氏のみでは英米に比し少数である。
本に比し金額の数が不足して支職を出する職あるので各側の振合を
を申ずる職あるので各側の振合を つて帝國全職も潜機、財部、松平 治領政府代表も加はる見込みで始 治領政府代表も加はる見込みで始 カソン長官以下七名、英嶋はマク 熊鷲れが決定したが、米嶋はステ 適任は出淵駐米大使 一 と見られてゐる。然し一部では出 一 と見られてゐる。 然し一部では出 安選技術、州淵欧米大使が有力戦 せられ、永井大使最も可

溜りも無く落城

危機に直面せる南京

おるが、此間壁に就ては無量すら に味する部材金額の及開を が悪度を動行してはどうか、政界機 が悪度を動行してはどうか、政界機 が表現を動行してはどうか、政界機

船軍の妙藥世界平和の話か

若槻全権が三博士と奮談

用選挙干渉の鉄地なからしど、曹祭制度を改善しば取出 府縣知事側を改革すること

たが先づ公民職から始めた方が良 安連内相が興価目に超繁地の開窓がを聞くに大窓職被の和きは此見地 としても之に職ずるだけの用窓がを聞くに大窓職から始めた方が良 安連内相が興価目に超繁地協同総 舊革新派の主張

調査機關を設置せん

してゐるが右に多分本月中間時間

「ワシントシニ日渡南」へワイ選にして一九二四年45民族資務前に、 にして一九二四年45民族資務前に、 取締修正

本月中旬第二囘懇談會開催 連絡輸送の上にも實施すること 一、貨物の代金列特制度を日 三浦 ことに改正すること



國際列車を運輸

職の影響の下に浅別単に向ふ歌だ ・ 本職にては関際預事を組成し支が の一般に憂聴されてある ・ 本職にては関際預事を組成し支が め一般に憂聴されてある ・ 本職にては関際預事を組成し支が め一般に憂聴されてある ・ は無里との脱格を取るため在哈朗 大月十七日以《何等の削組無また

マ公使招待宴

てるるものと歌らる

本ンレー族で職者の領 本ンレー族で職者の領 を提供を催した大乗な同日:後 を開放出版のプレンデントマッ

桃脈斑に到り煎く三日ハルピンに置い 安徳にて成は現職に留まるやも知 時にに張騰り配能を無け、疾患は 現場になるが、音味感作相氏の

聯盟積極的に

進行

外蒙軍札車

來諾爾占據

倫貝爾と外

哈市領事團の計畫

廣く意見を徴し 拓務の機能發揮



江南にも多が來り、中間また大 いつまで特徴す 飲まずに占る コリサ

内鮮滿周遊券を の三日間期間された郷 層便利に改正

北平四日愛電」宗派元氏は河南 【ワシントン四日愛電」語支統第 出来上つたので之を統裕省に適附 一世北年總司令 米官邊送皮 たいて突は縁犯作戦中の所何れる 大定数に戦し針特別創計業事者に 大定数に戦し針特別創計業事者に 大定数に戦し針特別創計業事者に 大定数に戦し針特別創計業事者に 大定数に戦し針特別創計業事者に その昔尖端外交ぶりで 驍名を馳せた小幡さん 對支外交の檜舞臺に乗出すか

外相は明六日の助戦に報告正式に決定する修作就任の内が動を受けたが大使は之を受諾した事間である。特別を受けたが大使は之を受諾した事間である。特別を対して対して対して対して対して対して対して対して対して対

小幡大使に交渉 あす閣議で正式交渉

明和五年度後期に開始の映解方針を る悟 の前正中だが近く深書されたが、告時金剛 関本 東京は 現場所 開始の 一覧 に さて を で は は 現場 に と る の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は た 他 の で 特 優 の 仮 下 げ を 行 は れ た が 、 告 時 金 常 算 は 現 内 閣 の 映 解 方 針を る ら 信

に報告の一幕の

天氣豫報

後後 七、〇〇五一

量灣とも連絡を開始

ด

初年文藝と寫旨

議派代理店

大きないて手腕が設率件後、 一列車にまたも悪跡あやしき 一列車にまたも悪跡あやしき 大を電流中の歌官が認め継何 とをではないて手腕が設率件後、 で格職 が認め継何

三名無錢飲食



現実は火の出るやらな忙しさで 現実は火の出るやらな忙しさで

あるその設定に最近の鎌道收入

と云つた有様で

に有様である。このうち

一月、三月までは出願り時であるのだ、が陰この収入の中には 旅客収入が一関位の位置を占め であるのだが、しかし大部分は

いと言ふ有様である。 『高鷹は 不智 海域は大連線頭には吹かな 不智 海域は大連線頭には吹かな

制三等の祈禱師

大連署で油を絞られ

拘留五日の處分

毛皮琴樂。色

を見ると

五二1,011日

四萬三千餘四と云ふのが毎近、

藤原義江

自會

おつた。この男は原稿常順も帯域 お出体から「勘二等は何属から質つ に」とを与りつけられてある男が

がなってるたこと判断し四月大 選挙にも致されたのだが「モス位 ででするたこと判断し四月大

部豊田洋行 戦

格不可能で北浦貨物はどんく ・ 本冬は特に東文、鳥蘇里線の道 ・ 本冬は特に東文、鳥蘇里線の道

同同十月月月月日 月三十十十七日 日日日11日日

四九人、一六六四四一五一五一八四一五一十八四一九九十二三五十十八四一九十二三九十八四一九十二三九十八四四回

二月、三月までは出願り時でも し落ちたのは降雪の貸めである。十二月に入つて中 し落ちたのは降雪の貸めである。

特產出

廻

賑ふ

大連埠頭

不景氣風ドコを吹く

を射殺す

版法召喚取職べをなすやも知れ内 橋するに至らぬものとし第二回都 橋ではたほ疑惑を一

のた豆犬なタレトン四個は徹々一郎二埠頭大郎介庫前に架散中であ

りしても電気仕掛の今度の方が はれるが起演力等から見るとど はれるが起演力等から見るとど はれるが起演力等から見るとど に際下し苦悶中を家人が發見、直 をに呼呼ばばに収容したが生命に に懸下し苦悶中を家人が發見、直

一時より観賞地方線判所では含と相乗会の開設は、

春の川崎に於

街三十七名の公

不正はない

を行ふか

書面審理

自慢のクレーン

っとやかくいはれる様な事はなっとやかくいはれる場のであるから、船の方かるるものであるから、船の方から、船の方ができるから、船の方ができるから、船の方ができる。

思よ使用する

第二埠頭六號倉庫と共に

一妓自殺未遂

七日の大連丸から

の府に在るものとし忍び得ざる。 は私の不徳の致丁ところで文数 事實はない、併し世の人が私に

・頼ちがへて死すべきところで るから深く退くに至つたのみ るから深く退くに至つたのみ

と市内但馬町吉田 郷敷 こちの他馬町吉田 郷敷

協和會館に於て

頻發の强盗殺人事件の嚴戒中 けさ奉天驛の騒ぎ

電子の機能に触せつけ極支那人を射殺し他の業客は無事 車が設車直動、塞天際無機線ホームから一名の事職性しき一支那 車が設車直動、塞天際無機線ホームから一名の事職性しき一支那 をに攀続を収り出したので、職出総査に素早く概つき車両にて依 ちに攀続を収り出したので、職出総査に素早く概つき車両にて依 を選続を収り出したので、職出総査に素早く概つき車両にて依 を選続を収り出したので、職出総査に素早く概つき車両にて依 を認め、第一名の事職性しき一支那 ■所持してゐるのみで麻名はいづ ■大十銭の飲食し。情內が強か一 同社會館上復情内正(こと)と共に四次町二三九千鳥カフェーに於いては四日午後九時三十分ごろ市内信 倉館止宿著述業吉富賞(か)の兩名 小橋前文相談 「事を存職しつ、左の如く語る の事態を存職しつ、左の如く語る 「事を特別日製電」等を帰則形に 「事を特別日製電」等を帰則形に

総飲食者として常盛橋版出所に突れる懐中無一文なること判明。無

長春行列車にも

答辞書 開東廳がパラ撒く金は百萬圓

秘書課算出に大童

格闘のうへ引ッ捕ふ

れた、党狀を授與するととろがあ

い支那ー

北支部級とも大連行動の様数があるための教を値に用支那級四十五個。 のの教を値に用支那級四十五個。 マンのため北支 班はピジネス

「金剛神の五日中」五日午前九時 二十分、李天曜北部線ホームで収 大なる強佐一名を孝天泰貞が川け で表記者は爆戦へ来たらしいの

二国北平、上海郡光殿を組織し近に歳末年20の休みを利用しての郷

国員の

察集を開始するこ

通丸にて大連費三日午終北平、天津視察團 一日後は

撫順落ちか

歳末年始の休みを利用

北平上海の觀光

ツーリスト・ビ

ロー主催で

原籍高田市南新町二三書時北僧館・北宮無職川谷壁宛(こつおよび原籍)

警戒を固む

雇員の昇給 警察官吏や

で神行中であつたが、に陰差、戦部を粉除の砂してある海船リッティース戦、艦艇に湿つて三丈近くもある新船員の単鉄が最、御棚、テソウ(しがステームのパルプを

ナ店は

て御契約

を最簡寄

は轉げ込む ーナス

現金二千二百四十一個八十九個 十一個八十九世(四百大口)

使用方法が異り一人前に同機を はすべて無無特権で一個ペペその はすべて無無特権で一個ペペその り間タレーン並に大跳倉庫も使用り間に使用を開始する事とな 鼠の自殺的献金を収穫めてみたが かねて補機沙河口工場では各国配 沙河口一 二千八

百九十餘勝を取纏めて 上場員献金

持撃し右戦金の収扱がを委覧した戦に遂したので五日・連市役所に 直らぬ

へらる

バース變更 來る廿二日から 無風合能性人感散二百餘名時下 で大立峰りをなしたので、耐寒市 能放事は散棄が最難と見做し各署 を地質し、機被事の命を出した結 ので、耐寒市

各定期船の

るが、高額単順及び大汽、個語パースの變更は既製の如く 間に敵々了解なり來る小二 前入時四十五分市四千代田町二 千代田町のボヤ

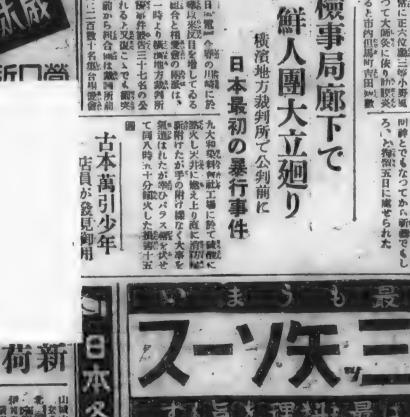
船艙に墜ち即死

御難續きの問題の獨船



東京風菓子謹製

北京ヤーズ蒸焼







9

合員外の方と 所 日御持多の事)

候解を開発した る、陸軍主計線変遣村構造閣下御來個定方機會(二十五年記念會)開催額上候

灰間御愛顧の程伏而頌 高る十二月七日より開 生一本の香りの味る 美味と經濟の食道樂

方面に通送するところあつた。



5万万十金で要通 二十二二〇 日本のででである。 日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のである。 日本のでは、日本の

オルソフォニック 壹千 クトロラ(一九〇) 臺限り (定價百五拾圓 近日開店

質貳百

(190)

B

にて

大は、難しい可吸づかひになつ

的な冷笑を走らせたばかりで野ばれては強情なつたの片根に足

見てやつて欲しいとのことに得行 を響き下したものと判明、あの落 を響き下したものと判明、あの落 を響き下したものと判明、あの落 を響き下したものと判明、あの落 を響き下したものと判明、あの落 を響き下したものと判明、あの落

よと、じつと戦闘してゐるよ

「何をやつてたんだ!云つてみろ

お京は俯向いたまい戦ってるる

一般の姿格があるかどうか一度離をといふ娘さんかあるのですが、女

地方の網に限を据えてゐるやうだ。

「お京、お前邦貞の豪屋で何をしてお京――」

やうな扮装も幾つて郷蔵を得つと であの組みしたあどけない人形の であり組みしたあどけない人形の

職の水管と共に少時端れた後、

懸の行方こも

つてるるふりをしてるるのは

答照を**関**んだやうな観だった。

ころへ無話がか

女ははつと

はお京を何慮かへ引っ張って

(红色软在粗粗无条)

女優志願 が手に入った就交換り 近これまた返り吹く プルら自活の脚くが

ないでと何時も日野のやうに云つてて楽しむがいょ、女は男を楽してで楽しむがいょ、女は男を楽してて楽しむがいょ、女は男を楽して

る智がっお京、 人に伝ってはな

ツワ

の方の彼に、衛気の刺 う云つた。 「ちゃっさうちゃねエといふのか

で酸素の話など特出しやがつて彩表のいて、やきもきしやがつて、夫 「それみろ、脚脚め!比関からわしにも選手が見えてゐた。 購入はお繭に 惚てるもんだから 鍵試目にで散業の話など特出しやがつて、夫で散業の話など特出しやがつて、夫で放業の話など特出しやがつて、夫で放表のでれた相違あるめエ」んである。それに相違あるめエ」んである。それに相違あるめエ」 日間 監察館に於て年本長齢三歳づ 女海波船実御属天踊は五日より五女海波船実御属天踊は五日より五 遊樂館の浪

開館!! 十二月七日

把對大条級學典書 9 三千石

料が批選の比。無義

も天然の俳響の強力を遭い を選ばのなるが故 を選ばのなるが故 を選ばのなるが故 を選ばのなるが故 を選ばるながなるが故 を選ばるないなるが故 を選ばるないなるが故 を選ばるないなるが故 を選ばるないなるが故 を選ばるないなるが故 を選ばるないなるが故 を選ばるないなるが故

総力が強り記録の無い人

1、下海の水く働いて貼る人 脱に要はれて関る人。 のでは、からいのでは、からのでは、のはでは、からのでは、からのでは、からのでは、からのでは、のでは、のではでは、のでは、のではでは、のではでは、のではでは、のではでは、のではでは、のではでは、のではでは、のではでは、のではでは、のでは

の緻密千両片

次第とはイヤハヤ



化學工業博

郵牌受領繼東京博覽會優良國産賞牌受領

一如斯人は滋養料○ミツワ規那織葡萄酒を用ひらるべし▲

開いていた。

強又は労働して抜れた

たします

T

知

着<u>海</u>酒

(内地以外は別)

學金寬圓

12.43

期待……

りと別んだ無難、瞬間

の方へ下った

廖

李戰記

ろの戦性というであたのでもしてものが、治療の職業の行とのなってあたのである。 あるのであるが、治療の職業の行とのが、治療での験がある。 あるが、治療の職業の行と

介治等

小唱映画 長が施之介主演



資本

萱

千

萬

の手

品安格るな主 •

五 日より 公開

上村阳子主旗 扱がん

三日

より

映る場所

画

内

六、七、八日

型 見 八 犬 傳
里 見 八 犬 傳
中村梅太郎・片陽行男共演
都でくら、林誠太郎・片陽行男共演

海結完 縛 児 給 砂 實問章 ·助之琴付巾·庭靖貫志 枝淺井駒。子春泉。子靜氣

怪

一十全てつ錦を館門重尾着見端具

院 安 器富3 醫

七日より三階

九九七 尺尺尺寸 ××土九九 尺尺尺

英御 じ新柄多数三幅揃 100 N= 000000 B

購冒

六ヶ月編了

に簡易消毒完全なる故永久絶對羽虫發生の憂なく至極安心で有升原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く、 暖く保存に使用原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く 、暖く保存に使用東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの? 工場の完備、 大原商

晉募集

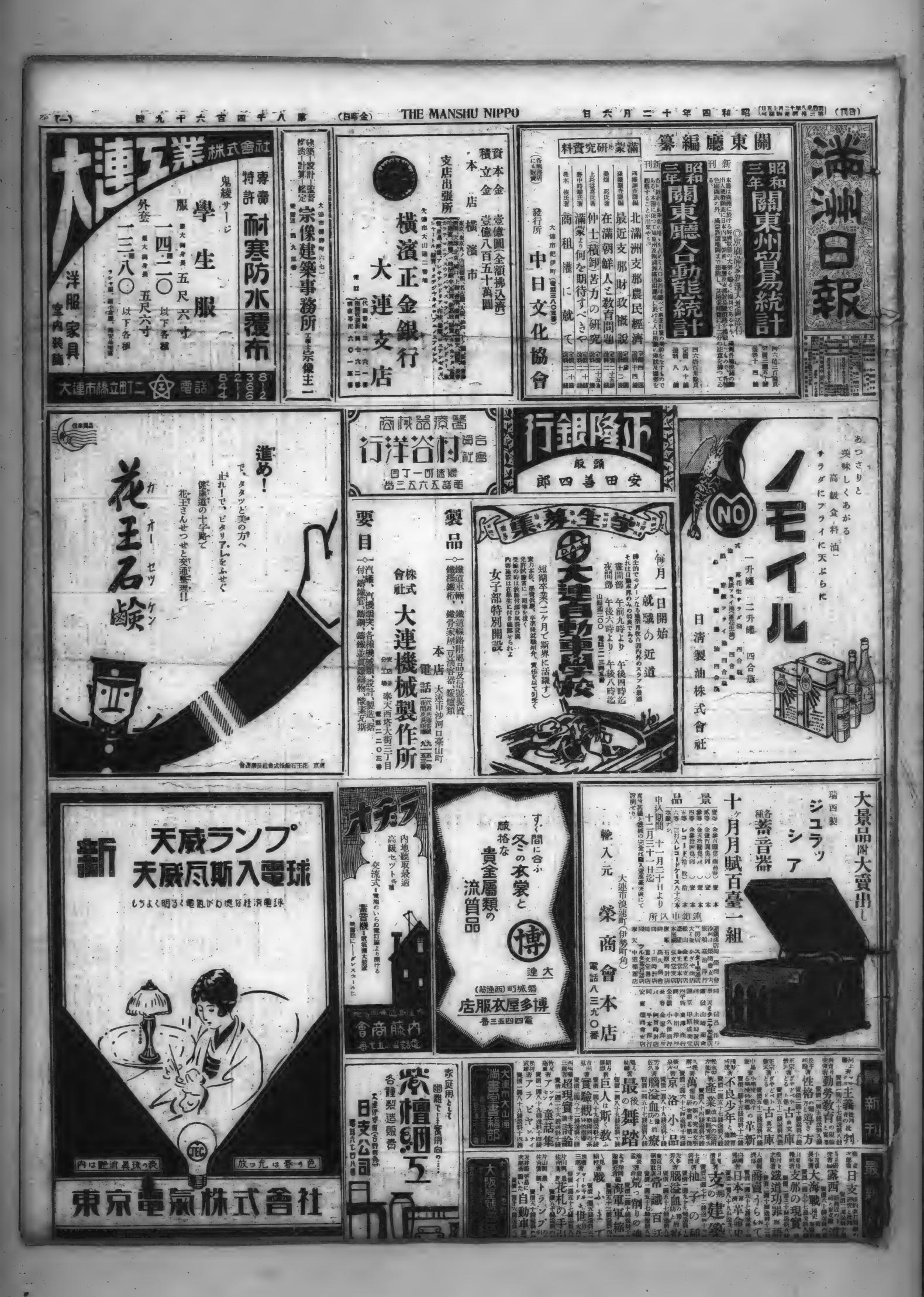
身物店、加子菜、被山、椰大、小西麵、 帐 張替(大連)三三〇番

支店所在地



標は吉野の甲付樽 酒は伏見の高級銘酒 辻利

000



藤度濃厚 **公正會反政府**

年次教書

参加を拒絕 米國の共同勸告

區劃改正は可能選舉權の擴張と

挙法改正の方針

したが『柱跡の記簿に繋し四日十七年長代章、十大時十分

務氏討伐軍を急派す

誤解は

一掃された

順調に進めば本年中には解決

長春にて祭運升氏語る

米政府より

は自分がその任に営ることにな されら知れぬ、順調に演めび正 と」ならう、支那側の管理局長 任命に就ては禁止側を初め世間 では誤解して人気に関するので には変通委員會が には変通委員會が には表して、又第一條 にはでは誤解して人のではない、又第一條 には変通委員會が には、現在東線 としない、商は今回の事動に際 には入手人の赤来電人が命安全 る由

マ交渉が成立しソウエー に終て十五日まで延期した。 に終て十五日まで延期した東 路支和平

三日獨逸政府から

野通電を發す

閻

氏に

米國豫算卅八億四千萬圓減少

伊州劉政府が課支統の日マコ

満洲關係の

を拒絕

大品の実材 1 無効となる 地での機構設は聴聴

結核療養所は

三國政府に覺書 東し直に自動車で城内に入つな 東し直に自動車で城内に入つな 東し直に自動車で城内に入つな で城内に入つな で城内に入つな で城内に入つな

監國から英米佛の

りトヴイノフ氏罵倒

放行單問題の

根本的對策

明年初冬に開所

▲辻村楠岩氏(主計趣監) 片谷傳 満氏(同随員) 松村満洲興信所 長の宋内にて五日午後各方面腰 防挨拶

る素権人の収

かた一二名に過ぎば

的時間は、宛から向日町は、宛から向日町は、

の地理

のそれのやうだとい

とさくら急行名札

になつた一日順の

日 報

概念が一般 が一般 かったもの 常山幕城が赤郷戦争兵二百餘名の れたのみならず都下官矢が遠城隊長瀬總章氏は去る十一月十七日 無抵抗で獣叫し尾城を敵に蹂躙で居た吉林軍歩兵第七成第四十二 官として置す所を置きずして発した時間地路勝戦の司

| 「国際 | 南行貨物機関の総製、 | 八萬職を仕向地別に元せば次の開発を登録されてるた大官班職 | 今大連方面映資(大部分輸設総正統の財活をきくに意外に職 | 今大連墳両三十二萬職(大部分輸送正統の財活をきくに意外に職 | 今太通墳両三十二萬職(大部分輸送工業の財活をきくに意外に職 | 今本書方面映資(自直房店至大連 無順炭の發送 十一月に六十八萬 昨年よりは五萬七千噸増加

市)五萬六千噸(地質) **五房店至大連** 「千順に

金票の取

引は皆無

「地文」タイピスト短期養成

生乳、大連牛乳株式會社

省山守備の

無抵抗退却と部下の掠奪で 近く銃殺される模様

回長逮捕さる

合せた模様でまた一般には省官が以上四ヶ條は連日實行すべしと

特產東行

満洲里の消息

一尚ほ不明

氣遣はれる在住邦人

各方面で連絡に腐心

富豐庫在

安田金庫] 清州代理店 上

一定部である7月、の指律 年末年始の御進物用には至陽證遺 年末年始の御進物用には至陽證遺

洋服類 蓋 發

確正 実確

出の三三三

馬順(內三萬六千順 し軍即保持上直ちに之を逮捕の上を展開の上の事に入り大に強烈に関策を鎮撃した事が其後調

満日案内

地名行列

林澤 性量丸炎 蘇灸

不丈太郎、電話四六九二番

大連市道楽町宝丁目ニーー大連市道楽町会では、

林官帖の惨落を 近手段で防止

無端僧と且つ現下電叉時局器化 を動り鉄金砂栗相場は職務が一時候と且つ現下震支時局器化の

新くのかく官談の 所を言う機したと言はれて居る がくのかく官談の を言う機したと言はれて居る では、のからでは、のからずとで保存し此層市場に質出する まで保存し此層市場に質出する とと見ず

世記 大切:特:勉強。 ・西公園可給後町大口: ・西公園可給後町大口: ・西公園可給後町大口: ・西公園可給後町大口:

学家町へた電七七七二、九季八四 伊勢町人た電七七七二、九季八四 伊勢町人た電七七七二、九季八四 日本学で

第一条 の御用命は

電五四三九

生花 菜花、材料 大連波速町

金對官帖相對江南 不可以

大連響城町通五八、南海営自山 大連響城町通五八、南海営自山 大連響城町通五八、南海営自山

傳お灸

間宮式其他各種

小ネツ

スペピン製 表月十七日デヤラ なっから約46ヶ月の今日、満洲里に まんりの背はは一切不明で鳴か スークールに使ける 国文衝突があつ スークールに使ける 国文衝突があつ スークールに使ける 国文衝突があった。

全の機関でも一日も早く満洲里との おったから其點は一艘に把要され てゐる。日本機関事館。 満郷美他

ゴム

山 中の御用会は

ラデオは何でも大地の選手品品権修理は格安賞用品を発展を受賞用品を 五球球 将澤 電六大六17 第一日六十八十二

安張服の準備有日本郷の準備有日本郷

代人七二二番 マー名 身體 理能なるものな中一名 身體 理能なる男子本人 來談、 での身體 理能なる男子本人 來談、 羽月商店

「「中小ラ原局」

野中醫院

皮 性 淡原生殖器 本語と八六七

二八町濃信市進大

科器床次事格庫皮醫富重 2增东西-超级学-通西鱼大

| 「一下日 | 七小畑氏方 | 保決さす | 一下日 | 七小畑氏方 | 保決さす | 七小畑氏方 | 一下日 | 七小畑氏方 | 保決さす

海1 撥大碗盒上型 今无確實 一日沿込整调多拾链 身无確實 一日沿込整调多拾链 與左顧町五七 共 演 響 葡萄三大六三番

高さへ歩なくない。又日本の風俗と かんと 中には日本流の姓名を附ける た、之を智器上の数字に違いて推 類よして居る、即ち過等後等の網 製品と見るべき収益を献え 製品と見るべき収益を献え 年度の千四百九十四萬日は場 職度の資料は益べ日本化して となり。後者に於ては同じ 昭和二年度の六百十二 研修性にに十一高来する。 は、一二大一順 に、して一二大一順 に、は、一五大一順 に、は、一五大一順 に、は、日本十一月中の のる、。 は、十一月中の のる。。 は、十一月中の のる。。 は、十一月中の のる。。 は、十一月中の のる。。 は、十一月中の

館見横科縣吳

西公職町六九

西海大二〇三

在文 原治綱紆みの方面 を選売大ススへ、 を選売大ススへ、 の山の本 の山の本

電話三〇四九番

始かど継でが遊だ、加茂川に加ふ

都に比して

は、市街は河に沿ふて飛ばしつよある、洗石に

台萬に戦して内地人は一

東は ヒシカワ薬局

チチ・モミ大楽明六O ・ 元素明六O

かけつきが変異側の近極を関し カタクシー

引越荷物貨物運送・電温・ス六大番 時計・蓄音器 01 修理工場は 5 米田時計中

門專科內 根嶋

前門正場市 町渡信 一番三回三人話電

注目される行く末

野。特別襲興は二十六日位である 五鵬派至M十割位の見雲である。 五鵬派至M十割位の見雲である。

大格 二百大萬七千百四

接收した を観の開棄日であつた例によつて を観の開棄日であった例によつて

郵便貯金の増加

四年度上半期の成績

講金を詐取し

情婦と高飛び

被害者から訴へ出る

といふ男が継続者となったので即 日放免したが電生隊長といふ房 を際長といふので郵重に取扱ひ 生際長といふので郵重に取扱ひ 生際長といふので郵重に取扱ひ 生際長といふので郵車に取扱ひ 生際長といふので即 一般であると可成りの増加を示して居まれた関サニ鏡で前年度同期に比当十六週十三鏡で前年度同期に比

棍棒强盜

ウキンドに御目見得せし

渡邊大隊長

出設に際しての腓静を強く 変達旅順重砲長大隊長は四

支那兵が邦人の

衣類家財を掠奪

領事館警察に訴出づ

れたき旨を述べた

警官の異動

教育では四日 につき

め捧げた身の私事を以て踏鞴すべに陥りたのであるが一旦東家の爲

機能小學校では近く内地各町店の されてNSに動百殿に選せる概像で されてNSに動百殿に選せる概像で されてNSに動百殿に選せる概像で は一般商人の会場として 樂樓の献金

収らぬ賞與の

噂や金算用

世間の不景氣を他所にして

炭礦社員の書入れ月

展門の頭を振動的ないとの場所を表る一日四流光線天保子村落に動物が一般、一大洋四百元拳統二級長統一級。 し現大洋四百元拳統二級長統一級

伐隊と交戦

地方事務所観生保では銀西附属地では銀底ならしめるため様の技術との取締りを

免渡河以西は

殆ど無警察狀態

城團ご交

表月十四日配音于大門 名を撃るて田珠書の 神民を襲ひ十六名を

大石橋支局長

伊藤謙次郎

と云ひ放つてその部屋

だらうか、その総果はどうなつてあの奥様は悪い意味に受けはせぬあの見様は悪い意味に受けはせぬ

土曜講座で

ボーナス 搬ひと言ふ聞れるで花柳紫へ柄にない自動車を兼

たきだに不景氣の今日この頃を ・の人々とは正既新に三千の炭頭 ・の人々とは正既新に三千の炭頭 ・カスデーの話で相好を崩してる。 ・とらぬ狸の皮質用に飲るボ

滿蒙植物の採集雜話

不逞の徒が出没掠奪

により左の如く更任いたしました 小林才治氏辭任につき小林前支局長の推薦 **支局長異動祉告**

大石橋

一度使へば

要次本組

入營兵到着

行き減少す

(四)

圍碁大會開催

別である。炭酸のお酸々に熟酸のないで、何に緊酸と云つても無味炭 ると、何に緊酸と云つても無味炭 本年も普通質異は酸黄ばは本郷の

大に悅に

なったがブログラムは左の知事質等学月押一番、我等の日間を在は有志教名の教促動風力を開発もある由する職派もある由 から演繹館に終て開催される事とから演繹をは来る二十一日午後大時代総山兼化総断員歌合会主催の活

十一月の死亡者

が少量の販路を有するに過ぎざり しが昨年以気北票版の高階目費ま しく本年の如きは一日に約二百噸以上の費行きありたるに抗はらず本 上の費行きありたるに抗はらず本

野三国安の舞め支那人の監要激増 が、之が原因は北票数は数質に於 が、之が原因は北票数は数質に於

一、利益金融分の件機類登計算書承認の件機類登計算書承認の件機類登計算書承認の件

であた機能数化・ 電響な事と地方事務所で計画を進め を放整的を開係者裏十名を提供 とに召集し協議等開催すると とに召集し協議等開催すると

料理店組合

後類りであり鐵饋にも何時潜入する格地に不能事實出不逞の疑の出近谷地に不能事實出不逞の疑の出長部山岸巡査部長の殉骸を始め最

時價三千圓の

阿片を密輸

列車内で檢學さる

午後三時九分發の急行で南平で来映製銀所各工場を見って来映製銀所各工場を見って来映製銀所各工場を見って来映製銀所各工場を見っている。 澤甲子男氏四日急行で藩千代野特務曹長の後任と

の二間方の退職手雷を支給された。

ロシア人從業員

手當不足

拶して再び例の温敷給料の少ない

花代は研究中

合無調査の上電行する連続である
ても組合機で考慮中にて活識の張
ても組合機で考慮中にて活識の張

大連から呼びるせて でお目見得 ガール

の本店へ呼び一日同洋行のの本店へ呼び一日同洋行の 賀洋行主が懸命の掛合ひ

大きられたる議典のも流徹に際に大きのである。

三萬五千九百六團▲前日十七百四十、組合員数七十名出養婦別は左の通りである。

輸組の成組

うちへかえて行く、又供的の老

が末た。彼は「ナ。今日は」と続

心篤の父を残し 故郷を出發

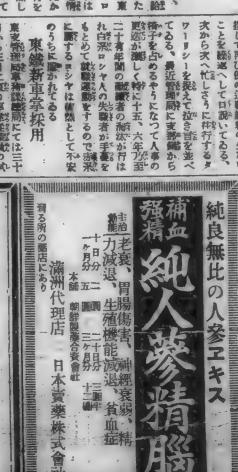
質問娛樂室の設備もあり

新原保健浴場

第一条しい遊び場所です。 永滞在の御客様にも

開原驛頭で計に接す 守備隊美談





純良無比の人参ヱキス

口六

對局者の感想」の木四度日く前の支点

銃火を交へ

匪賊逮捕

中洲水田完成

・連級事會社の中州水既を解く大 「関関した残に水場がは大り工事を は來発に完成する管で製作には大 は來発に完成する管で製作には大 となりば楽中の苦力も大学 は水野に完成する管で製作には大

日本音樂の

支拠放送局で

品

▲登沙河輝 柴車人員 柴車人員 貨物砂没數 八人)

町の

高砂工業會社製 一ラデオ用、通信用トシテ最モ高評ナ

不型錄進星可仕候

大编山縣基

支店

學天学的可大型画

商會

貴金屬器

大村洋行 ~

本舖

東京 **售** 紫 所

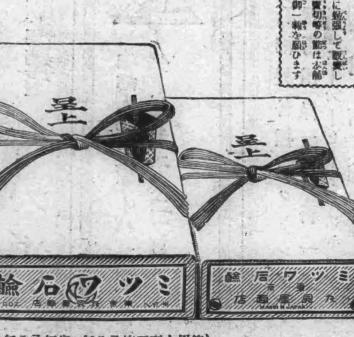
〇丸見屋商店

日から

上に三倍以上も永保が致します故、何れ の御家庭でも必ず御悦びになります。

程、其品質は良くなる一方で御座いますも嵩張らず、破損せず、長く藏つて置く 運搬に





(圖寫縮包入函打一·包入函打半·包入函簡三型大用德)

B號ナイト ケンネツト號 目

界

0

車轉

重油 車軸油 車軸油 テキサコルーフイング、ビッチ を計良人三五人番 植椒油

他印ボイラーグラハ

商

保

ス號

威權

契約高の多少に拘らず御電話あり次第係員

多上御相談申上ます 三井物產株式會社 **《炎·海上》 運送。 自動車**

電話代表セーロー番地大連市山縣通一八二番地

御進物こして不相變御利用の程を希上ますく御禮申上げます。當年も亦歳末、年始の御贈答季節には毎度、御用命を賜はり忝な

でお用ひになる必需品で、品質が優秀なのまりりんには御子標達から御老人ま

節約の際

〇ミツワ石輪は體裁も宜しく、

輸活及ツミ

店商。軍見克

贈答品には是

年始の

きゆうに其の犬がかわいそうに らくとふるえて居ます。私

りしました。

犬でしたっさむいのでせら、

私は、道々しんばいして居まし

た。時々その犬をなでて中つた

12

い、毛のふさりへした可愛い無層をした。よく見ると、目の九

のかき根の下に、小犬が小さく

なつて「チンプ

く」と、ないて

かしら、そんなものすでよった

いでなんて、おつしゃらないか

ったからです。私はとんで行っ

仕事に、とりかかりましたの様と、おつしやつてお父さんは又

でそだててもいいだろうし

つほよう。かわいい犬だねの家

りを見てわすと、ぶた小屋の前

の方へそろくがき出しました

お母さんが、おこりは、しない

なぜかと言へば、お父さんは大

たまりませんでした

へん犬ずきだからきつと、ゆる

との、ごんへんじる私は、うれ

た。お父さんは、にこり さんの前につき出して見せまし

「お父さんに、聞いてごらん」

すの私は、びつくりして、あた

魔からか小犬のなきごえがしま

たつて、いゝわ」そうけつしん やるに、きまつてる 「しかられ

と、ききました。

「わ、お母さん、い」でせう」

だてよるい」でせらし

といつて、その犬の子を、お父

「やつかいな、犬を、そだてる

お母さんに、

犬の子をひろつたからうちでそ

「お父さん、あのね、かわい」

したの

お母さんは、犬が、きら

をの日私は壁桜に行っても、そ の事ばかりをかんが、て居ました。 そして観彩が、すひと。と

ひがからでせらっ心のなかでは

らん酸を、していらつしやいま

とを話すと、おかあさんは、

その日私は眼校に行つても、

れないようと、狂犬病かもし

お母さんに、さつそく、そのこ は小をどりしてよろこびました

した私は、その犬をだいて、家

かへつて来ました。すると、何様は、一人で部一難びに行って

きつと「いけない」と、おつし さんが何と、おつしやるだろう

てれは、頭目の事でした。

部ッ

+

んの、顔色をき、うかがいなか ておられました。私は、 と、おつしやった倒り小犬を見

お母さ

ゑで、

こんなにかわいい犬を揺るなん

お母さんは、おはり仕事をして

「その犬、どのしたい?もらつ

ひました。私はお父さんを、 で、私はなんだからさびしく風

おけそこをしているかに混ぶにおってあるのだ、今楽は、ごくかく

今日はどうしたことかこないのようこんでとびついて来るのに せんのいつもなら私が行くと、 らがラとくよだれを、出して

んをもつて行くと、黒は、日か

して、ごはんをたべようとしま

では、ないのかし そう思ふと、総はかなしくなり ました。そして、無のろづめた すこし高くもり上つて思ると、地が すこし高くもり上つて思ました。 総はそこを、見つめて

るしそうにして居ました。

或機のことです。私は黒にごは

それから何ケ月か練ちました。

がつかりしました。私は、

「ああ、もう黒は、此の他の犬

ぼうで、ころしたのよし

とこまるから、支那人が、 「あのね、病無が、

那人が、てつ

は、きのどくそうに、

と、おきょしますと。 「無ばどうなつて?」

お母さん

たからです。

けました。此の犬は毛が黒かつ 分で勝手に「無」と言ふれをつ 私は誰にもそうだんせづに、自 のだろうと、思ひました。 のか」と思って、いらつしやる

思ひきつて中に入りました。 中に入る類になれませんのだが

家の前まで来ると、どうしても

居る中に、何だか戦

拾つた

制



とうし 低氣壓の話 (中)

一郎さんは水道栓からほとばしり出る冷たい水をなみくくと洗り出る冷たい水をなみくくと洗がに受け顔を洗ってしまふとのやらにキュッ!くと冷水暖響をしました。一郎さんの冷水暖響をしました。一郎さんの冷水暖響 態が満んだころにはお父さんは かして下さいし は るみ 5

『お父さん、低無限のお話を聞 もち居団の食卓の上に今朝の新 郷さんはお父さんの向側に坐

何百質といふ窓類を支へてゐる 氣の目方が約二貫五百気位だし 一だけど不 思識ですね、そんな

度が高くなつたり水蒸気を多く

て来る。 が贈くなれば從つて無壓が變つ 類底を測るのに水銀晴雨計を使 さんだりすると其の容積が大き そして測候所では此の

てあるわけですねし、つまり一寸四方のと

補

充を忘

が即ち策略だ。そこで容氣は温 底して居る● 此の容無の配す力 とろを二貫五百三十四気の力で

のみ干して交話をついけるので お父さんはお茶を一杯 ぐつと 風が吹くのですか」 つでは低無路の時にはどうして 「それはこうだ」

图清等值

一本日高資用

兒

と、お客さん塗は戯心して

社會名台納嘉

最大できる 中 日 大・田田

在庫豐富多少に拘らず御用命願ます

商

石

ツ

突グ式グ

朝各煖石種屋綿

房綿

保各

ツ

ておられます。



つてお膝の上にキチンと手を置

一郎さんのお父さんは頭の上の一郎さんのお父さんは頭の上の では少しばかり話してあげ きましたっ 「えーと、まだ時間はあるな、

「無點といふのはまあ一口に言 のとを話さなければならないな 「無配つて何ですか」

氣の重さだし るんですかし 「こんな壁い空類にも日方があ 「窓気といふものはまことに触

地で一寸四方の職種の受ける空地で一寸四方の職種の受ける空地で一寸四方の職種の受ける空地である。先づ平

ら人間がペシャンコにつぶれて

外の容無と身體の中の容無とが よく釣合つて居るからおせんべ しまふぢやありませんかし 「ところが、人間の身體の中に

獣な重さで増採の上を壓しつけ でさらすると、私だちは栄養の でさらすると、私だちは栄養の

歐米

風變りな電車

阿

左見福

ところどころ

先づ低類地の話をする前に類語 ウカベ オリタタミシキノ ボ オホイノデ センスキディヲ ウ 「サア コノ イブツノ アトヲ オヒカケヤ ヨウイシマシタ。 ポ



磃

手なので、皆から「よいず

だ。よいボーイだ」とほめられ

電大計

六四一〇番

根

眼

科

醫

院

いしい!く」とほめておられまと、お客さん塗は脳心して『おつたのです』とおつしやいます

日本料理も上手で近頭はお母さんがボーイ今ばんのおかずは何 かつたのにとお父さんも感心し

家のボーイを林小學校寺四

所襲れば品襲る。 登港の様には二階のある電車が走つてるます。 上蔵には無動道電車がありますが、二階付の電車を見るのは初め てなので物珍しさに先づ乗つて見ました。高いところから街の様 などの電車は滞石器いところだけに車域の概板がなく乗客の時の などの電車は滞石器いところだけに車域の概板がなく乗客の時の

香港のタインスロードを港つてある二階付電車です。

字にもなりますので、日本語も 学にもなりますので、日本語も

した。お母さんは。

父さんは、倉庫の中で、何かしてお父さんを見つけました。お

て居ました。私は、大きな、こ



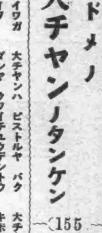
大チ ۴ ヤン

ヤント ダラスト ブルガ ノー タノミ ボートニハ 大チー タノミ ボートニハ 大手 ダンヤ クワイチュウデン クワイチュウデントウ

ツテ テカケマシタ。

ウミノ ミヅガ 大チャンタチヲ ヒカリヲ

サラ ノセタ デン クワイチュウデン ヒカリラ タヨリニ



9

3

几

ミチ

カニ ズンズン キマシタ。 ハイツテ 14

ウ雷 作

> 敢て推奨す 急性慢性貪血 榮虛病

弱・羸痩者・

店商吉皮澤華 二町修道飯大





を御願します聴 大連市浪法 絕對責任保證 話四七 皆

一年 7月月 三・〇〇

斯界に誇 大景品付 ユナ 音裁械 優堅 無雅牢

北山無殿市長、武山助役及び東城長、竹中、田中、内藤、村上、西野、嵩田の鉄議員は四日一時年間東京を訪問し太田長官に配館、明和教練所の州内設立に載力方脈

質行委員を選定

期成同盟會にて

國勢調査を

明年十月に施行

中央統計委員會で決定

今中良、野村宗、松田湖三郎、 名越正吉、村田平文郎、川崎液 名越正吉、村田平文郎、川崎液

旅順市の有志

松竹に賃貸

十ケ年契約

| おいます | まいます | まいますす

甘井子大連間に

航路浮標を繋留

命を救ふ

航路を制定、船舶の便宜を圖る

満鐵が七萬圓を投じて

活してゐること」なるので

さて小鼠類知らずり縁院の窓を一に肯定を興へないと式ふところかれているのが記しなのできせれていた。 が範囲なるのできせれ

では、夏の覧。と多の脚やと云つた二 は八月がその顕脱を中め、多は、 か外類の形をの顕脱を中め、多は、 か外類の形がその顕脱を中め、多は、 か外類の形がその顕脱を中め、多は、 かりによりが聞いれたストーヴ の、ベーチカの、スチームの跳を かっ、スチームの跳を かった。 のい、スチームの跳を からが聞いたストーヴ のい、スチームの跳と のい、スチームの跳と

四百九十九人と云ふのが多の内でも十一月十一日の一日

五十人に比べると一千三百! 増加で、網院には不默無風

肉な好景氣よ

相變らず病院繁昌

病氣は緊縮時代にも遠慮な

大連醫院覗~記

1. 製成日 一製 研2 同業/五 6 本 科 配4 四 一名参照した、最極度を表面の第二名参照は、 整部が、第二名総配し同義を専用人 によったが、表

昨曉、釜山榮叫の火事で

電機に成らせられ生徒の動技を結 能に成らせられ生徒の動技を結 能に成らせられ生徒の動技を結 が、動示を懸り午後一時俳単

置く冒答へた

「東京五日登成」 15日王 周松竹 で 数階の 15日王 周秋竹の大谷 15日王 周秋竹の大谷 15日王 周秋竹の大谷 15日王 周秋竹の大谷 15日王 周秋竹の大谷 15日王 周秋竹の 15日王 周秋竹の 15日王 周秋竹の 15日王 周は 15

を取って 動って 動って を取った修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れた修業見、概念のでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 を取れたのでいる。 をいるのでは、 をいるのでな。 をいるのでは、 をいるでは、 をいるで、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるで、 をいるで、 をいるで、 をいるで、 をいるで、

太田一條內氏

しむべく近く同場質内の各种 主及が抱へ抜を呼び出して全 齢の順答を厳止するやも動かっ

高美音集順院小林初奏「観覧兵序的スク

答

品

03

は

行

大連市浪池町一 蜜柑細問屋

製・一部では、 年間の影響に小崎士器では今年は 年間の影響に小崎士器では今年は

州したので四十年後様主より大連 子(二五)は二日午後六時頃無断家 香地吾妻様猫前属小染料館美山静 市地吾妻様猫前属小染料館美山静 ので四十年後一時頃無断家

罷りならわ

小崗子署から近く機主権技に動告

所被市局に致られ石郷階級事の反 機能長金森米一郎氏は五日午前九 機能長金森米一郎氏は五日午前九

金森氏を送局













ネクタ





英国製 スエタ ドレッシングガウン スエター



の氣 た 浪 洋 行 0 御 焓

四种 靴 下(平打典人)

一時背田繁地で製頂式を奉行するの避賊に七日東京に減り同日午後の避賊に七日東京に減り同日午後

共通商品切手。

浪華洋行。商品券

た御遊集尚末る歴

機能作行の商品等

非語の御髪利な。

ハンカチー

スへ中打入)









イシャツと

英國教際

91

ワイシャツ

全に切り触されてゐるかを見やう「六百三名と云ふ數である。ペツ・(世間の希たいしぶきからして完」ドは、外來千三百五十八名。八八日の代謝院が精像の養道收入と等し、二十八日の大連病院が持つレコーである、即ち今年の経底八 二千百餘名の 容疑者を引致

もないと云ふ。 (知慣は調整し、大消骸院の薬局)

五日本此あて左の野き挟柳雅を宿って左の野き横柳郡の細くその果依を完らして去っておいたが、

私を通じて市民各位の御屋道

三人と云ふ殿、入院患者も

てるるといはれてあるが編書では 相は指いても提識用に使かずに居 れぬ谷業庭の昨今の研媒得製所別 主任を訪ねてみる 今年は例学に比し気温の高い開

これも程度を越しちやお隣者の記 いたならずに満むものではない、 で、これにおいるさんの特殊概念、空、

一年 (1997) (199 京城の不穩文書事件 せざる事を希望してゐる 0

用開大學籠球部

支那チーム中の强豪

山中瀬透店に渡り屋へたとして自宅に連れ勝り種々がは、大阪の上日ででは、大阪のの上日にて自宅に連れ勝り種々がは、大阪のの上日にて自宅に連れ勝り種々がは

大吹雪中にて大吹雪中にて大吹雪中になける人間美蔵『市内 者階蔵沈外一名を輝椒に使った吹雪中における人間美蔵『市内 者階蔵沈外一名を輝椒に使った

禹引女捕はる

店、大具版店に () 大具版店に () 大型 ()

で長くつやを出し

温

足

が上向 スカーフと

スカーフ

イメリヤス(上下一巻)

